

第6期美唄市総合計画

びばい未来交響プラン

施策評価表

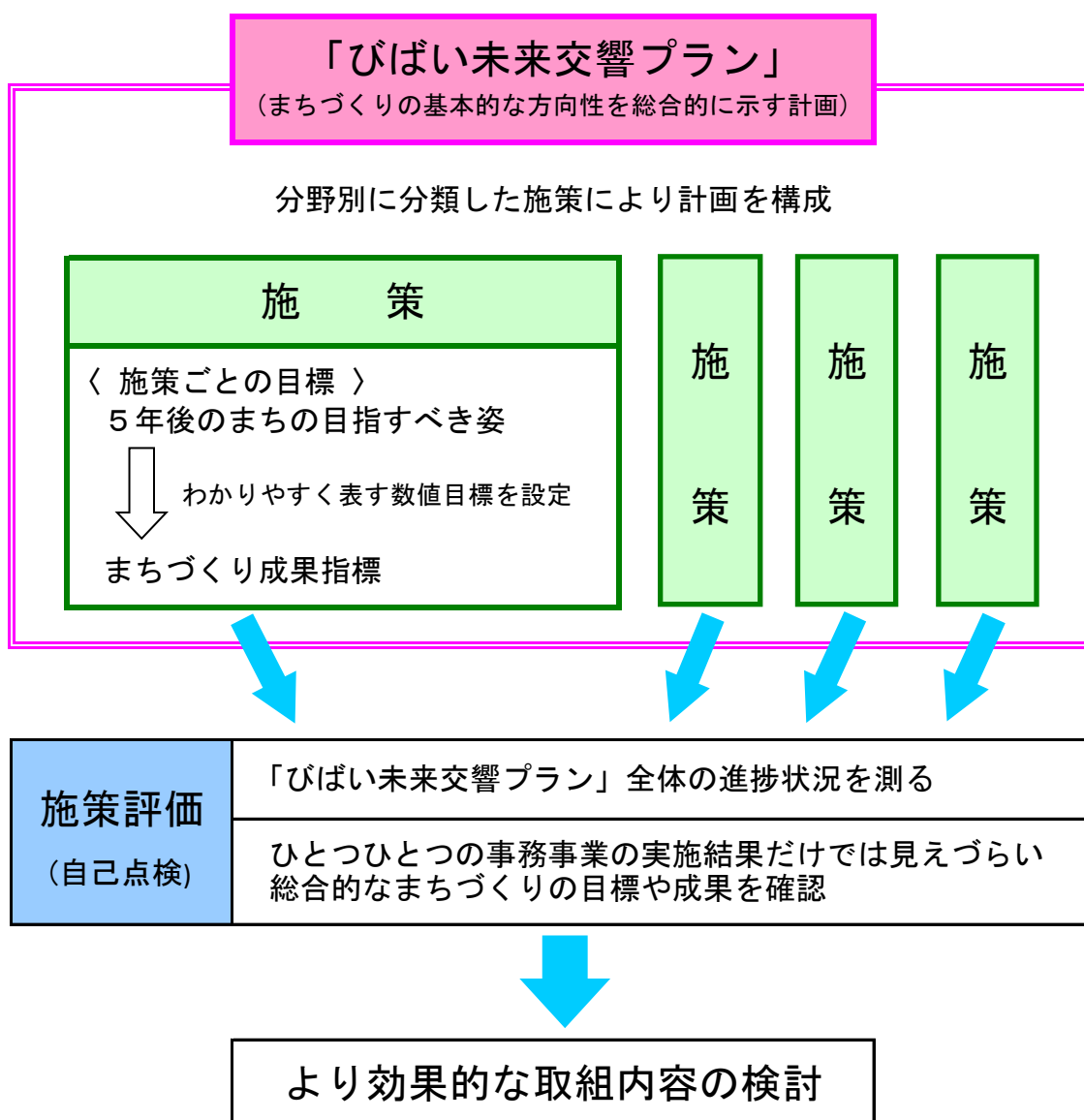
(進捗状況 平成23年度～平成26年度)

平成28年2月

びばい未来交響プラン施策評価

市の総合計画である「びばい未来交響プラン」前期基本計画（Ｈ２３～Ｈ２７年度）では、まちづくりの基本的な方向性を分野別に分類し計画を構成しており、この分類の単位を『施策』として位置付けています。それぞれの施策には、目標として５年後のまちの目指すべき姿を明示するとともに、目指すべき姿をわかりやすく表すための数値目標として「まちづくり成果指標」を設定しています。

施策評価は、「びばい未来交響プラン」を構成する各施策の目標、方向性、成果などを自己点検することで、①「びばい未来交響プラン」全体の進捗状況を知る ②ひとつひとつの事務事業の実施結果だけでは見えづらい総合的なまちづくりの目標や成果を確認する ③進捗状況を踏まえ、より効果的な取組内容を検討する ための手段となります。



びばい未来交響プラン施策評価表の構成

評価対象期間

平成

年度末

【第6期総合計画「びばい未来交響プラン」の施策体系】

6つの柱	
施策の柱〔 〕	
施 策（ ）	

【主管課及び関係課】

主管課：

関係課：

【施策の目指すべき姿】

美唄市総合計画「びばい未来交響プラン」前期基本計画（H23年度～H27年度）において、目標として施策ごとに設けた5年後（H27年度）のまちの目指すべき姿を記載しています。

【目指すべき姿に到達するための施策の方向性】

「施策の目指すべき姿」に到達するためには、どのようなことをしなければならないかという方向性を記載しています。

【まちづくり成果指標・関連指標】 施策の目指すべき姿や方向性を数値目標で表したもの

区分	整理 No	指 標	指 標 の 説 明	目標値	実績値			達成度 (進捗度)
				H27	H○	H△	H◇	
成果 指標		施策の目指すべき姿を数値目標で表しています。						
関連 指標		施策の方向性を数値目標で表しています。						

【施策の達成（進捗）状況】

目標（「施策の目指すべき姿」や「施策の方向性」など）に対する現在の達成（進捗）状況を記載しています。

【施策を構成する事務事業】

Index No	事 務 事 業 名	担当課	事業費(千円) (対象年度決算額)	事務事業評価	
				事務事業の今後の方向性	
	施策を構成する事務事業の一覧です。				

〈参考〉まちづくり成果指標・関連指標の取得方法

区分	整理 No	指 標	取 得 方 法	算 定 式 等
成果 指標		まちづくり成果指標と関連指標の取得方法を記載しています。		
関連 指標				

目 次

1 人と情報が行き交いにぎわいが生まれるまちづくり

〔1〕産業づくり

- (1) 農商工連携 1ページ
- (2) 農業振興 3ページ
- (3) 商工業振興 7ページ

〔2〕にぎわいづくり

- (4) 観光・交流 9ページ
- (5) 公共交通 11ページ
- (6) 情報化推進 13ページ

2 人と文化を育み交流が広がるまちづくり

〔3〕人づくり

- (7) 子育て支援 15ページ
- (8) 学校教育 19ページ
- (9) 芸術・文化・生涯学習 23ページ
- (10) 男女共同参画 27ページ
- (11) 平和施策 29ページ

3 豊かな景観あるれるエコロジーなまちづくり

〔4〕環境づくり

- (12) 自然保護 31ページ
- (13) 環境行動 33ページ
- (14) ごみ処理 35ページ

〔5〕うるおいづくり

- (15) 都市基盤整備 37ページ
- (16) 景観・緑づくり 41ページ

4 誰もが健康でいきいきと暮らせるまちづくり

〔6〕健康づくり

- (17) 保健 43ページ
- (18) 地域医療 45ページ

〔7〕福祉のまちづくり

- (19) 障がい者福祉 47ページ
- (20) 高齢者福祉 49ページ

5 安全で安心して住めるまちづくり

〔8〕安全づくり

(21) 防災・防犯・交通安全 53ページ

(22) 消防 55ページ

〔9〕安心づくり

(23) 消費者保護 57ページ

(24) 雇用対策 59ページ

(25) コミュニティ 61ページ

6 みんなで力を合わせるまちづくり

〔10〕地域経営の確立

(26) 協働のまちづくり 63ページ

びばい未来交響プラン「まちづくり成果指標」一覧（再掲） . . . 65ページ

びばい未来交響プラン施策評価表

評価対象期間

平成26年度末

【 第6期総合計画「びばい未来交響プラン」の施策体系 】

6つの柱	1 人と情報が行き交いにぎわいが生まれるまちづくり
施策の柱	[1] 産業づくり
施策	(1) 農商工連携

【 主管課及び関係課 】

主管課：産業振興課

関係課：商工観光課・農政課

【 施策の目指すべき姿 】

◎地元農産物を活用した特産品が生まれる

農業や商業、工業を営む人が活発に交流し、地元農産物などを活用した新しい商品やサービスが生まれ、その特徴や魅力を情報発信することで、需要拡大と消費の定着につながっていく。

【 目指すべき姿に到達するための施策の方向性 】

1 産業間連携のしくみづくり

新商品開発や新たなサービスの提供など、本市の「食」と「農」の魅力を活かしながら、農業者と商工業者がお互いに交流する機会を設けるほか、試験研究機関等とも連携して、美唄の「食」を活かした商品の開発などを支援する。

2 PR活動と販路開拓情報発信の強化

農商工が連携して市外のイベントに積極的に出品し、商品のPRや販売促進を図るとともに、市内では食のフリーマーケットの開催や農産物直売所、市ホームページ、ポータルサイトPiPaの活用などにより、商品やサービスに関する情報発信を強化するとともに、販路開拓のための営業活動をコーディネートするなど、開発商品の定着を支援する。

【 まちづくり成果指標・関連指標 】 施策の目指すべき姿や方向性を数値目標で表したもの

区分	整理 No	指 標	指 標 の 説 明	目標値	実績値			達成度 (進捗度)
				H27	H24	H25	H26	
成果指標	1	新たに商品化された特産品数	農商工連携の取組の成果を、新たに商品化され1年以上継続販売されている特産品数で見る指標	3商品 H23～27の累積	1商品	4商品	6商品	200.0%
関連指標	1	農業資源活用の情報交流会年間開催回数	異分野事業者間の交流機会の頻度を見る指標	1回	0回	1回	1回	100.0%
	2	市内外イベント年間出品回数	市内外の消費者に対する地元農産物加工品等の販売・PR活動の状況を見る指標	5回	3回	11回	13回	260.0%

【 施策の達成（進捗）状況 】

食に対する安全・安心志向、健康志向の高まりや付加価値のある農産物・健康食品を求める消費者が増加するなか、農産物の一大生産地である本市にとっては、良質な農産物の生産に加え、生産者・食品加工業・小売業・飲食店業などが連携し、地域の特色や強みを活かした新たな付加価値をもった加工品の開発、販売開拓を進めることが地域経済の循環を高め、地域全体の活性化につながる。

本市の現状として、農商工連携による新たな商品開発の動きは活発化してきているものの、継続した生産・販売が可能な商品化を目指すため、商品開発にかかるストーリーやコンセプトの明確化、大学・試験研究機関や専門家等との連携強化のほか、商品PRや販路開拓面について強化する取組みが必要である。

農商工連携を推進するため「農商工連携推進助成制度」を創設し、初年度となる平成23年度については、米粉・大豆などの美唄産農産物を活用した加工品の商品化を目指す3団体が商品開発を進め、1品商品化、平成24年度には地元野菜原料とした乾燥野菜など2品、平成25年度には麴や米粉製品など7品が商品化され、平成26年度にはアスパラを飼料とした羊からできる製品の開発など2件の継続事業が展開し、事業全体の成果が出始めている。

今後は、国・道や支援機関などの助成メニュー活用の橋渡しをするほか、地域経済円卓会議や異業種間の交流機会を通じ、商工会議所や農協などの関係機関との連携体制を強化するとともに、個別のニーズに対応し試験研究機関や大学との連携や専門家等との橋渡しを促すなど、フォローアップ活動を強化する。

PR等の活動については、アンテナショップなどを情報発信の場として活用するほか、食にこだわったまちづくり市民推進会議と連携した情報発信、道内・道外イベントや商談会などへの積極的な参加、さらには、道産品販売店や飲食店などへの橋渡しなど、販路確保も着実に進めることとする。

【 施策を構成する事務事業 】

	事務事業名	担当課	事業費(千円) (H26決算額)	事務事業評価	
				事務事業の今後の方向性	
1	農商工連携推進助成事業	産業振興課	1,567	現状維持	現行の内容が最適
2	地域力広域連携チャレンジ事業	商工観光課	284	現状維持	現行の内容が最適

〈参考〉まちづくり成果指標・関連指標の取得方法

区分	整理 No	指 標	取 得 方 法	算 定 式 等
成果 指標	1	新たに商品化された特産品数	業務取得	美唄産農産物を活用して商品化され1年以上継続販売されている特産品の数(H23～27の累積)
関連 指標	1	農業資源活用の情報交換会年間開催回数	業務取得	農業資源活用の情報交換会の年間開催回数
	2	市内外イベント年間出品回数	業務取得	地元農産物加工品等の市内外イベント年間出品回数

びばい未来交響プラン施策評価表

評価対象期間

平成26年度末

【第6期総合計画「びばい未来交響プラン」の施策体系】

6つの柱	1 人と情報が行き交いにぎわいが生まれるまちづくり
施策の柱	[1] 産業づくり
施策	(2) 農業振興

【主管課及び関係課】

主管課：農政課

関係課：農林整備課・農地整備課・
農業委員会

【施策の目指すべき姿】

◎消費者から信頼される産地になる

地域農業を支える多様な担い手により、安定した農業経営が実現し、環境に配慮した、安全・安心で良質な農産物の生産により、消費者から信頼される産地になる。

【目指すべき姿に到達するための施策の方向性】

1 農業経営の安定化

米、麦などの基幹作物を振興しながら、野菜や花きなどを取り入れた経営の複合化や、農地の利用集積、生産基盤の整備などを促進し、農業経営の体質強化や安定化を図る。また、新規就農者をはじめ、地域農業を支える多様な担い手の育成・確保を進めるほか、地域や農業者が加工や産直販売など、創意と工夫により主体的に取り組むことができる農業・農村づくりを進める。

2 消費者に信頼される産地づくり

環境に配慮した安全・安心で良質な農産物づくりを続けるとともに、地産地消や都市と農村との交流、農業体験や「食育」などを通じた消費者と生産者の結びつきを強める取組、農地が持つ多面的機能に対する理解の促進など、農業への関心と理解を深めながら、消費者に信頼される産地づくりに取り組む。

【まちづくり成果指標・関連指標】 施策の目指すべき姿や方向性を数値目標で表したもの

区分	整理No	指標	指標の説明	目標値	実績値			達成度 (進捗度)
				H27	H24	H25	H26	
成果指標	2	農業総販売額	農業振興の成果を農産物の総販売額から見る指標	65億円	(H23) 53億円	(H24) 53億円	(H25) 51億円	78.5%
関連指標	3	認定農業者数	農業の担い手確保の状況を認定農業者数から見る指標	 H20を維持 529経営体	492 経営体	492 経営体	479 経営体	△ 50 経営体
	4	ほ場整備済面積	農業生産性の向上の程度をほ場の整備済面積から見る指標	4,486ha	2,898ha	3,005ha	3,182ha	70.9%
	5	イエス・クリーン表示制度登録集団数	消費者に信頼される産地づくりの状況をクリーン農産物生産を行う集団数から見る指標	 H20より増やす 9集団	13集団	13集団	12集団	+3集団

【 施策の達成（進捗）状況 】

「農業経営の体質強化と安定化」の推進に向けて、各農協地区ごとの地域農業再生協議会と連携し経営所得安定対策の取組みを推進したほか、農協管内ごとに策定した「人・農地プラン」の見直し作業を行うとともにこのプランに位置付けられた中心経営体に取り組む法人化や6次産業化などの取組みに必要な農業用機械等の整備を支援したほか、新規就農者へ就農給付金を交付し、経営の早期安定化の支援を行い、多様な担い手の育成・確保に努めた。

「消費者に信頼される産地づくり」の推進に向けて、生産者が取り組む日本型直接支払の取組みを国や道と伴に支援したほか、北のクリーン農産物表示制度に基づく取組みや持続性の高い農業生産方式（エコファーマー制度）に基づく取組みの推進を図るなど、環境に配慮した安全・安心で良質な農産物の生産に努めた。

農地の整備については、峰岩地区、沼の内地区、中美唄地区、大富第1地区、大富第2地区、大富第3地区で道営換地事業を実施したほか、事業実施に伴う農業者の負担軽減を図るため、食料供給基盤強化特別対策事業を実施するとともに、ほ場の補修や維持管理のための機械を機械利用組合に対し貸与した。また、国営美唄茶志内地区・美唄地区の国営換地事業を実施した。

この他、内水排水機場や農業用排水路、農道などの土地改良財産の適切な維持管理に努めた。

今後も、多様な担い手による安定した農業経営の確立を図るため、国の農業政策の方向性を十分に見極めながら、生産基盤の整備や農業用用水路施設の機能維持や長寿命化、経営基盤の強化を推進し、農業・農村の有する多面的機能を将来にわたって維持・発揮していくため、消費者に信頼される安全・安心な売れる農産物づくりの産地形成を推進する。

	事 務 事 業 名	担当課	事業費(千円) (H26決算額)	事務事業評価	
				事務事業の今後の方向性	
1	水稻生産振興事業	農政課	778	現状維持	現行の内容が最適
2	畑作生産振興事業	農政課	5,729	現状維持	現行の内容が最適
3	農業振興事業	農政課	2,033	現状維持	現行の内容が最適
4	農業経営改善推進事業	農政課	184	現状維持	現行の内容が最適
5	農業経営資金利子助成事業	農政課	8,351	現状維持	現行の内容が最適
6	中山間地域等直接支払事業	農政課	2,423	現状維持	現行の内容が最適
7	農業一般管理事務	農政課	946	現状維持	現行の内容が最適
8	小麦食害対策事業	農政課	903	現状維持	現行の内容が最適
9	鳥獣捕獲等事業	農政課	3,673	現状維持	法令等の定めあり
10	畜産一般振興事務	農政課	170	現状維持	法令等の定めあり
11	経営体育成交付金事業	農政課	33,193	現状維持	現行の内容が最適
12	排水機場管理運営事業	農林整備課	19,818	見直し	方法の工夫・改善
13	農業排水管理等事業	農林整備課	6,657	現状維持	現行の内容が最適
14	公団営土地改良事業	農林整備課	91,781	終 了	事業完了
15	農業用明渠排水及び支派線維持管理事業	農林整備課	12,764	見直し	拡 充
16	農道維持管理事業	農林整備課	1,698	見直し	拡 充
17	農道離着陸場管理運営事業	農林整備課	3,640	現状維持	現行の内容が最適
18	国営農業用水再編対策事業	農林整備課	22,300	現状維持	債務負担行為
19	国営造成施設管理体制整備促進事業	農林整備課	39,096	現状維持	現行の内容が最適
20	ほ場整備事業	農地整備課	504	現状維持	現行の内容が最適
21	21世紀高生産基盤整備促進対策事業	農地整備課	5,066	現状維持	債務負担行為
22	食料・環境基盤緊急確立対策事業	農地整備課	194	現状維持	債務負担行為
23	持続的農業・農村づくり促進特別対策事業(債務負担分)	農地整備課	749	現状維持	債務負担行為
24	道営換地計画受託事業	農地整備課	22,014	現状維持	現行の内容が最適
25	国営換地計画受託事業	農地整備課	36,082	現状維持	現行の内容が最適
26	土地改良センター運営事務	農地整備課	487	現状維持	現行の内容が最適

	事 務 事 業 名	担当課	事業費(千円) (H26決算額)	事務事業評価	
				事務事業の今後の方向性	
27	耕地利用高度化推進事業	農地整備課	15,451	現状維持	現行の内容が最適
28	利用権設定等促進事業	農業委員会	1,010	現状維持	法令等の定めあり
29	農業委員会事務	農業委員会	16,372	現状維持	法令等の定めあり
30	農業者年金基金受託事務	農業委員会	1,402	現状維持	法令等の定めあり
31	経営所得安定対策事業	農政課	14,281	現状維持	現行の内容が最適
32	農地・水保全管理支払交付事業	農林整備課	79,241	見直し	拡 充
33	環境保全型農業直接支援対策事業	農政課	8,544	現状維持	現行の内容が最適
34	排水機場整備事業	農林整備課	10,065	見直し	拡 充
35	食料供給基盤強化特別対策事業	農地整備課	70,146	現状維持	現行の内容が最適
36	国営区画整理推進調査受託事業	農地整備課	3,020	現状維持	現行の内容が最適
37	中心経営体農地集積促進事業	農地整備課	820	現状維持	現行の内容が最適

〈参考〉まちづくり成果指標・関連指標の取得方法

区分	整理 No	指 標	取 得 方 法	算 定 式 等
成果 指標	2	農業総販売額	業務取得	農作物ごとの10a当たり生産者販売額(国の交付金の一部を加算)に作付面積を乗じて算出した額 ※「北海道農林水産統計年報(総合編)」の数値を一部引用して算出しています。本数値の算出に必要な全ての統計数値の発表は、生産年の2年後となります。
関連 指標	3	認定農業者数	業務取得	認定農業者数
	4	ほ場整備済面積	業務取得	基盤整備済のほ場(水田)面積の累積
	5	イエス・クリーン表示制度登録集団数	業務取得	北海道が実施するイエス・クリーン農業表示制度に登録している集団数

白紙ページ

びばい未来交響プラン施策評価表

評価対象期間

平成26年度末

【 第6期総合計画「びばい未来交響プラン」の施策体系 】

6つの柱	1 人と情報が行き交いにぎわいが生まれるまちづくり
施策の柱	[1] 産業づくり
施策	(3) 商工業振興

【 主管課及び関係課 】

主管課：商工観光課

関係課：産業振興課

【 施策の目指すべき姿 】

◎買い物をする人が増え、企業活動が活発に行われる
市民が楽しく買い物ができる賑わいのあるまちになる。
また、新製品や新技術が生まれるなど、企業活動が活発に行われ、環境にやさしい雪冷熱エネルギーの活用が広がる。

【 目指すべき姿に到達するための施策の方向性 】

- 魅力ある商業環境づくり
中心市街地での賑わい創出を図るため、個性ある商店街づくりやサービス向上の取組を促進し、まちなか交流広場の活用など、市民が楽しく買い物ができる、魅力ある商業環境づくりを進める。
- 企業活動の活性化
企業の誘致活動をはじめ、「ビジネス交流会」など企業同士の情報交換・交流活動を活発に行い、企業活動による新製品、新技術の開発などを支援するとともに、起業を希望する人への支援、企業間・異業種間の交流・連携が積極的に行える環境整備の推進、さらには、新たな産業おこしと環境問題に貢献する雪冷熱エネルギーの活用による産業振興を図る。

【 まちづくり成果指標・関連指標 】 施策の目指すべき姿や方向性を数値目標で表したもの

区分	整理No	指標	指標の説明	目標値	実績値			達成度 (進捗度)
				H27	H24	H25	H26	
成果指標	3	工業出荷額	工業振興の成果を工業出荷額の総額で見る指標	192.0億円	(H23) 155.4億円	(H24) 157.1億円	(H25) 150.3億円	78.3%
関連指標	6	企業数	企業活動の活性化の状況を市内の製造業企業数から見る指標	 H20より増やす 60社	(H23) 49社	(H24) 48社	(H25) 45社	△ 15社
	7	起業件数	新産業、ベンチャービジネス支援の成果を見る指標	6件 H23～27の累積	0件	1件	1件	16.7%
	8	立地企業数	企業立地活動の成果を見る指標	3社 H23～27の累積	0社	0社	2社	66.7%

【 施策の達成（進捗）状況 】

『商業』人口の減少に伴う消費購買力の減少やインターネット販売、さらに通信販売など、消費者ニーズの多様化などにより、商店の売上げは年々減少しており、商業を取り巻く環境は年々厳しい状況となっている。

厳しい経営環境の中で商業環境の充実を図るために、商業者自身が中心市街地に消費者を呼び込むため買い物バスの運行など、新たな商業活動に取り組んでおり、これら商業者が実施する中心市街地での賑わい創出を図るための事業を支援するとともに、個性ある商店街づくりやサービス向上の取り組みを促進し、市民が楽しく買い物ができる、魅力ある商業環境づくりを進めている。

【 施策を構成する事務事業 】

	事 務 事 業 名	担当課	事業費(千円) (H26決算額)	事務事業評価	
				事務事業の今後の方向性	
1	新産業振興事業	産業振興課	111	見直し	方法の工夫・改善
2	美唄市食糧備蓄推進協議会補助事業	産業振興課	500	見直し	方法の工夫・改善
3	企業立地活動事業	産業振興課	5,063	現状維持	現行の内容が最適
4	企業立地等振興対策補助事業	商工観光課	43,926	現状維持	現行の内容が最適
5	中小企業人材養成補助事業	商工観光課	540	現状維持	現行の内容が最適
6	中小企業等振興資金貸付事業	商工観光課	337,305	見直し	方法の工夫・改善
7	中小企業指導対策事務	商工観光課	9,245	現状維持	現行の内容が最適
8	商工振興対策事務	商工観光課	196	見直し	方法の工夫・改善
9	まちなか交流広場管理運営事業	商工観光課	294	見直し	方法の工夫・改善
10	美唄ハイテクセンター貸付事業	産業振興課	175,500	見直し	方法の工夫・改善
11	商店街活性化支援事業	商工観光課	2,000	見直し	拡 充
12	空知団地管理事業	産業振興課	1,197	現状維持	債務負担行為

〈参考〉まちづくり成果指標・関連指標の取得方法

区分	整理 No	指 標	取 得 方 法	算 定 式 等
成果 指標	3	工業出荷額	工業統計調査	工業統計調査の市内工業製品出荷額総額 ※工業統計調査の集計結果は調査対象年の2年後に公表となる
関連 指標	6	企業数	工業統計調査	工業統計調査の市内製造業事業所数 ※工業統計調査の集計結果は調査対象年の2年後に公表となる
	7	起業件数	業務取得	H23～H27の起業件数の累積
	8	立地企業数	業務取得	H23～H27の立地企業数の累積

びばい未来交響プラン施策評価表

評価対象期間

平成26年度末

【第6期総合計画「びばい未来交響プラン」の施策体系】

6つの柱	1 人と情報が行き交いにぎわいが生まれるまちづくり
施策の柱	[2] にぎわいづくり
施策	(4) 観光・交流

【主管課及び関係課】

主管課：商工観光課

関係課：企画課

【施策の目指すべき姿】

◎交流人口が増える

交流拠点施設を核として、アルテピアッツァ美唄や宮島沼などの様々な地域資源を有効につなげることで、まちの魅力が増し、たくさんの人が美唄を訪れる。

【目指すべき姿に到達するための施策の方向性】

1 情報発信とPR活動の充実

交流拡大を図るため、市のホームページやポータルサイトPiPa、フェイスブックなどのSNSに掲載する地域資源の情報を充実させ、広く内外に美唄の魅力をアピールするとともに、農産物や特産品の販路拡大、地域観光情報の発信などを目的として開設したアンテナショップの成果を踏まえて、積極的なPRや販売活動を民間との協働により進める。

2 交流拡大のしくみづくり

交流拠点施設やアルテピアッツァ美唄、宮島沼などの地域資源を繋ぎ合わせ、市外からの来訪者が市内全体を回遊し、体験型観光や滞在型観光を楽しむことができるよう、自然や歴史に加え、文化・芸術などの「アート」や「食」「農」の魅力を活用するとともに、観光客に対するおもてなし力向上に取り組み、交流の拡大を図る。また、サイクリングをはじめ、近隣自治体と連携した広域観光ルート開発に取り組むことで観光・交流の活性化を進める。交流拠点施設周辺のスポーツ施設については、利用者の拡大を図るためホール数を増やした、美唄市パークゴルフ場と交流拠点施設との連携を図りながら、積極的に利用者向けのPRを行うなど、利用率を高める。

3 移住・定住の推進

多様な媒体を活用した情報発信やライフスタイルの提案を行い、短期滞在や季節移住の訪問者数を拡大させるとともに、移住のために土地等を取得する際の助成を行うことにより、本格移住につなげる。

【まちづくり成果指標・関連指標】 施策の目指すべき姿や方向性を数値目標で表したもの

区分	整理No	指標	指標の説明	目標値	実績値			達成度 (進捗度)
				H27	H24	H25	H26	
成果指標	4	観光入込客数	観光振興・交流推進の成果を観光入込客数で見る指標	40万人	32万人	31万人	32万人	80.0%
関連指標	9	観光PR活動年間実施回数	観光情報の発信の状況を市外で実施したPR活動の実施回数で見る指標	5回	13回	16回	18回	360.0%
	10	観光情報ホームページ年間アクセス件数	観光情報の利用状況を市のホームページの観光情報のページへの年間アクセス件数で見る指標	20,000件	21,406件	23,820件	41,832件	209.2%
	11	美唄市に移住した人数	移住・定住推進の取組の成果を移住・定住情報を活用して実際に美唄に移住した人数で見る指標	10人 H23～27の累積	11人	7人	16人	340.0%

【 施策の達成（進捗）状況 】

観光振興については、道内外での各種イベントや物産展等におけるパンフレットや観光PR用DVDなどを活用した観光PR及び新商品をはじめとした特産品PRの実施、近隣自治体との連携による地域資源の魅力PRに向けた「北海道そらちグルメファンド」の開催や教育旅行誘致に向けた取組を進めたほか、シンガポールからの観光客誘致に向けたメディア招へいなど、外国人観光客も視野に入れた観光振興に努めたが、北海道の調査に基づく観光入込客数によると、26年度の本市の観光入込客数は32万人と前々年度・前年度と比較してほぼ横ばいにとどまっている。

観光客のニーズや旅行形態が多様化する中、今後、観光客の誘致による交流人口の増加を図るため、近隣自治体と連携した広域観光ルート開発を進めるとともに、外国人観光客にも対応したSNSやスマートフォンのアプリケーションなどを活用した観光・特産品の情報発信やサイクリングやドライブなどによる観光客誘致に向けた情報発信と受入環境整備、さらには英語などの語学研修をはじめとした観光客へのおもてなし力向上に向けた研修会の開催などに努めていく。

移住定住については、住宅の新築や中古住宅を購入した転入者への助成、短期滞在「ちょっと暮らし」を継続するとともに、関西圏でのPRの実施、SNSを活用した情報発信、観光PR事業とのタイアップによるプロモーション活動などを進め、本市の認知度、ブランド力を高める取組に努めていく。

【 施策を構成する事務事業 】

	事務事業名	担当課	事業費(千円) (H26決算額)	事務事業評価	
				事務事業の今後の方向性	
1	美唄観光物産協会補助事業	商工観光課	7,500	現状維持	現行の内容が最適
2	観光振興事業	商工観光課	3,617	見直し	拡 充
3	美唄国設スキー場管理運営事業	商工観光課	6,820	現状維持	現行の内容が最適
4	美唄国設スキー場整備事業	商工観光課	9,916	見直し	方法の工夫・改善
5	交流拠点施設管理事業	商工観光課	1,085	現状維持	現行の内容が最適
6	交流拠点施設整備事業	商工観光課	53,019	見直し	方法の工夫・改善
7	パークゴルフ場管理事業	商工観光課	7,742	現状維持	現行の内容が最適
8	パークゴルフ場整備事業	商工観光課	3,672	見直し	方法の工夫・改善
9	体験交流施設管理事業	商工観光課	5,662	現状維持	現行の内容が最適
10	スキーパトロール隊活動交付事業	商工観光課	300	現状維持	現行の内容が最適
11	ピパオイの里プラザ管理運営事業	商工観光課	10,960	見直し	方法の工夫・改善
12	南空知ふるさと市町村圏組合事務	企画課	833	見直し	方法の工夫・改善
13	移住・定住促進事業	企画課	3,853	現状維持	現行の内容が最適
14	特産品情報発信促進事業	商工観光課	1,600	見直し	対象や目的変更
15	地域資源を活用した観光地づくり推進事業	商工観光課	443	見直し	対象や目的変更

〈参考〉まちづくり成果指標・関連指標の取得方法

区分	整理 No	指 標	取 得 方 法	算 定 式 等
成果 指標	4	観光入込客数	業務取得	北海道観光入込客数調査報告による美唄市への観光入込客数
関連 指標	9	観光PR活動年間実施回数	業務取得	市外で実施した観光PR活動の年間実施回数
	10	観光情報ホームページ年間アクセス件数	業務取得	市ホームページの観光情報のページへの年間アクセス件数
	11	美唄市に移住した人数	業務取得	移住・定住情報を活用して実際に美唄に移住した人数(H23～27の累積)

びばい未来交響プラン施策評価表

評価対象期間

平成26年度末

【 第6期総合計画「びばい未来交響プラン」の施策体系 】

6つの柱	1 人と情報が行き交いにぎわいが生まれるまちづくり
施策の柱	[2] にぎわいづくり
施策	(5) 公共交通

【 主管課及び関係課 】

主管課：生活環境課

【 施策の目指すべき姿 】

◎移動に必要な交通手段がある
様々な方法により、市内の公共交通を便利に利用できる。

【 目指すべき姿に到達するための施策の方向性 】

1 新しい公共交通の構築

既存の公共交通体系を高齢化や過疎化に対応したものに再編するため、地域公共交通活性化協議会で地域公共交通総合連携計画を作成し、バス交通の活性化や公共交通機関同士の連携などにより、公共交通の利便性を高めていく。

2 市民バスの効率的運行

市民からのバスの増便や停留所増設等の要望があるものの、実際の乗車率向上には結びついていないことから、利用者の少ない時間、路線等の見直しを行い、継続して運行できるよう、コストの節減と収益の確保を図る。

【 まちづくり成果指標・関連指標 】 施策の目指すべき姿や方向性を数値目標で表したもの

区分	整理 No	指 標	指 標 の 説 明	目標値	実績値			達成度 (進捗度)
				H27	H24	H25	H26	
成果指標	5	市内公共交通の満足度	日常生活で公共交通がどの程度充足しているかを見る指標	80.0%	62.7%	61.3%	63.8%	79.8%
関連指標	12	市民バス年間利用者数	市民バス(西線・東線)の利用状況を年間延べ利用者数で見る指標	95,000人	80,254人	80,735人	80,357人	84.6%
	13	市民バス1便平均利用者数	市民バスの利用状況を1便当たりの平均利用者数で見る指標	7.3人	5.9人	6.2人	6.9人	△0.4人

【 施策の達成(進捗)状況 】

成果指標「市内公共交通の満足度」が昨年の61.3%から63.8%と2.5ポイント上昇している、これは、平成24年10月から循環方式として運行している市民バス東線の利用方法が定着したものと考えられる。

また、平成24年度に東側地区、平成26年度に西側地区において運行を開始した乗合タクシーについても一定の満足が得られているものとする。

今後は、現在の運行方法を維持しながらも、少しでも利用者の意見を反映し、更なる利便性の高い公共交通の運行に努めていくこととする。

【 施策を構成する事務事業 】

	事 務 事 業 名	担当課	事業費(千円) (H26決算額)	事務事業評価	
				事務事業の今後の方向性	
1	市民バス西線運行事業	生活環境課	10,367	見直し	方法の工夫・改善
2	市民バス東線運行事業	生活環境課	32,731	見直し	方法の工夫・改善
3	美唄市バス路線維持費補助事業	生活環境課	7,750	見直し	方法の工夫・改善
4	地域公共交通活性化・再生総合事業	生活環境課	762	見直し	方法の工夫・改善
5	地域間幹線系統バス路線維持費補助事業	生活環境課	1,882	現状維持	現行の内容が最適

〈参考〉まちづくり成果指標・関連指標の取得方法

区分	整理 No	指 標	取 得 方 法	算 定 式 等
成果 指標	5	市内公共交通の満足度	まちづくり 市民アンケート	通勤・通学や買い物などへ行くときに近くにバス路線がなかったり、使いたい時間帯の便がないなどで困っていますか。 1. 近くを通るバス路線がなく困っている 2. 使いたい時間帯の便がなく困っている 3. 困るときもあるが現状のままで我慢できる 4. 困っていない 5. その他 3・4の回答者数／全回答者数
関連 指標	12	市民バス年間利用者数	業務取得	市民バス(西線・東線)の年間延べ利用者数
	13	市民バス1便平均利用者数	業務取得	市民バス(西線・東線)の年間延べ利用者数／年間総運行便数

びばい未来交響プラン施策評価表

評価対象期間

平成26年度末

【第6期総合計画「びばい未来交響プラン」の施策体系】

6つの柱	1 人と情報が行き交いにぎわいが生まれるまちづくり
施策の柱	[2] にぎわいづくり
施策	(6) 情報化推進

【主管課及び関係課】

主管課：企画課

関係課：市民課

【施策の目指すべき姿】

◎必要な情報を必要なときに知ることができる

市民生活やまちづくりの活動に必要な情報を市のホームページなどを通じて、必要なときに知ることができる。また、様々なまちづくりの課題について、ICTを活用して解決につなげることができる。

【目指すべき姿に到達するための施策の方向性】

1 情報提供の充実とインターネット環境の整備

市から提供する情報については、少子高齢化を背景として、医療・保健・福祉、子育て支援、防災・防犯など、市民生活に身近な情報をきめ細かく提供する。また、光回線のサービスエリア拡大を図るとともに、電子申請等の手続数の充実やモバイルコンピューティングへの対応などによる利便性の向上を図る。

2 協働のまちづくり支援と地域活力の向上

地域の様々な課題に対応できるよう、ICTを活用した方策を検討し、町内会活動の情報や各種のボランティア活動情報などの発信・交流により、協働のまちづくりや地域活力の向上につなげる。

【まちづくり成果指標・関連指標】 施策の目指すべき姿や方向性を数値目標で表したもの

区分	整理No	指 標	指 標 の 説 明	目標値	実績値			達成度 (進捗度)
				H27	H24	H25	H26	
成果指標	6	光回線普及率	情報化を進めるための環境がどの程度整っているかを見る指標	60.0%	87.0%	87.0%	95.6%	159.3%
関連指標	14	美唄市公式ホームページ年間アクセス件数	市からの情報受信状況を市ホームページへの年間アクセス件数で見る指標	180万件	101万件	113万件	128万件	71.1%
	15	電子申請可能な手続数	電子自治体の進捗度をインターネットを通じてできる市への届出や申請などの手続数で見る指標	25手続	21手続	21手続	21手続	84.0%

【施策の達成（進捗）状況】

平成23年12月から、市街地のほとんどが光回線サービス提供エリアとなり、平成25年9月から峰延町、上美唄町、茶志内町など郊外地域の一部もサービス提供エリアとなったことで、市内の95.6%が光回線提供エリアとなっている。

また、エリア外の地域(上美唄、西美唄、開発、豊葦などの一部)のサービス提供開始に向けて、民間事業者に対し、要望していく。

市のホームページについては、平成26年度に管理システムや全体構成を見直し、迅速でわかりやすい情報の提供に努めるとともに、市のフェイスブックを開設し、情報を積極的に配信し、双方向での情報共有を推進する。

【 施策を構成する事務事業 】

	事 務 事 業 名	担当課	事業費(千円) (H26決算額)	事務事業評価	
				事務事業の今後の方向性	
1	地域情報化運用事業	企画課	4,315	現状維持	現行の内容が最適
2	行政情報化運用事業	企画課	167,183	現状維持	現行の内容が最適
3	戸籍事務電算化事業	市民課	17,318	現状維持	債務負担行為

〈参考〉まちづくり成果指標・関連指標の取得方法

区分	整理 No	指 標	取 得 方 法	算 定 式 等
成果 指標	6	光回線普及率	業務取得	光回線サービスエリア電話加入者数／市内電話加入者数
関連 指標	14	美唄市公式ホームページ 年間アクセス件数	業務取得	市ホームページへの年間アクセス件数
	15	電子申請可能な手続数	業務取得	インターネットを通じてできる市への届出や申請などの手続数

びばい未来交響プラン施策評価表

評価対象期間

平成26年度末

【 第6期総合計画「びばい未来交響プラン」の施策体系 】

6つの柱	2 人と文化を育み交流が広がるまちづくり
施策の柱	[3] 人づくり
施策	(7) 子育て支援

【 主管課及び関係課 】

主管課：こども未来課

関係課：健康推進課・学務課・生涯学習課

【 施策の目指すべき姿 】

◎安心して子育てができるまち

子どもが健やかに育ち、安心して子育てができるよう、社会全体で子育てを支援するしくみができ、子育てしやすいまち。

【 目指すべき姿に到達するための施策の方向性 】

1 総合的な子育て支援の推進

社会全体で子育てを支えるため、自主的な活動を行う「子育てサポーター」を育成するとともに、多くの団体が関わる地域子育て拠点支援事業を拡大していく。

2 保育環境の整備

子どもを夜間に預かるトワイライトステイや短期間施設等で預かるショートステイを継続するとともに、病児・病後児保育事業に取り組む。認可保育所は、築35年～40年を経過し老朽化が進んでいることから、計画的な整備と将来の施設統合に関する検討を進める。

3 幼稚園教育

私立幼稚園、保育所や小中学校との交流など、多様な連携の中で子ども達の発達に必要な体験と主体的な活動を大切にしながら幼児教育の充実に努める。

4 放課後児童対策の充実

放課後児童施設については、各小学校区に施設が整備されたことから地域の状況に応じた放課後児童対策の充実を図る。

5 青少年の健全な育成

子どもたちの健全育成の取組を進めるとともに、子ども会育成連絡協議会などの青少年育成関係団体の活動を支援していく。また、青少年の問題行動を未然に防止し、犯罪被害から子どもたちを守るため、学校・家庭・関係機関や団体等との連携を図る。

【 まちづくり成果指標・関連指標 】 施策の目指すべき姿や方向性を数値目標で表したもの

区分	整理 No	指 標	指 標 の 説 明	目標値	実績値			達成度 (進捗度)
				H27	H24	H25	H26	
成果 指標	7	子育てしやすいまちだと思 う市民の割合	美唄市がどの程度子育てし やすい環境にあるかを市民の視 点から見る指標	60.0%	29.0%	28.1%	22.9%	38.2%
関連 指標	16	子育てについて気軽に相 談できる相手がいない保 護者の割合	子育てに関する不安感や孤独 感の解消ができていないかを 見る指標	0%	2.6%	1.6%	4.3%	4.3 ポイント 超過
	17	乳幼児健康診査等受診率	要支援親子の早期発見、早期 支援につなげるため、乳幼 児・1歳6か月児・3歳児の健康 診査の受診率を維持でき ているかをみる指標	95.0%	97.2%	98.4%	95.0%	100.0%
	18	保育サービスの充実度	保育サービスの充実度を保護 者の視点から見る指標	95.0%	94.0%	92.5%	92.0%	96.8%

【 施策の達成（進捗）状況 】

1 総合的な子育て支援の推進

「子育てサポーター」の育成に努め、新たに17名がサポーターとして認定された他、多くの団体が関わる世代間交流事業を実施し、社会全体で子育てを支援するネットワークの推進に努めた。

2 保育環境の整備

保育士を中心とした保育所整備に関するワーキングチームにより、保育環境の充実と保育ニーズに適応したサービスの向上を図ることを目的に検討を重ね、老朽化や幼児数の減少等を踏まえ、保育所の統廃合、再編について検討を進めた。

3 幼稚園教育

私立幼稚園や保育所等との交流事業の実施、学校、家庭や地域との連携、更に幼保小連携強化のしくみづくりを進め、子どもたちの発達に必要な体験と主体的な活動を大切にしながら幼児教育の充実と義務教育への円滑な接続に努めた。

4 放課後児童対策の充実

放課後児童施設については、各小学校区に施設が整備されたことから地域の状況に応じた放課後児童対策の充実が図られた。

5 青少年の健全な育成

子どもたちの健全育成の取組を進めるとともに、子ども会育成連絡協議会などの青少年育成関係団体の活動を支援していく。また、青少年の問題行動を未然に防止し、犯罪被害から子どもたちを守るため、学校・家庭・関係機関や団体等との連携を図るほか、北海道日本ファイターズとのパートナー連携協定事業として、野球教室やダンス教室を新たに開催した。

【 施策を構成する事務事業 】

	事 務 事 業 名	担当課	事業費(千円) (H26決算額)	事務事業評価	
				事務事業の今後の方向性	
1	家庭児童相談事業	こども未来課	33	現状維持	現行の内容が最適
2	こども療育広場(児童デイサービス)事業	こども未来課	8,974	見直し	方法の工夫・改善
3	子育て支援センター管理事業	こども未来課	9,970	見直し	方法の工夫・改善
4	子育ての広場運営事業	こども未来課	5,989	現状維持	現行の内容が最適
5	子育て短期支援事業	こども未来課	0	現状維持	現行の内容が最適
6	地域子育て拠点支援事業	こども未来課	305	見直し	方法の工夫・改善
7	子育て地域ささえあい事業	こども未来課	83	現状維持	現行の内容が最適
8	児童手当支給事業	こども未来課	241,173	現状維持	法令等の定めあり
9	児童扶養手当等支給事業	こども未来課	122,016	現状維持	法令等の定めあり
10	障がい児居宅生活支援費給付事業	こども未来課	33,973	現状維持	法令等の定めあり
11	障がい児等保育事業	こども未来課	6,505	現状維持	現行の内容が最適
12	母子・父子家庭等支援事業	こども未来課	118	現状維持	現行の内容が最適
13	母子家庭自立支援給付金事業	こども未来課	31	現状維持	法令等の定めあり
14	助産施設事業	こども未来課	2,010	現状維持	法令等の定めあり
15	乳幼児健康増進事業	健康推進課	1,800	見直し	方法の工夫・改善
16	親子の健康づくり事業	健康推進課	67	見直し	方法の工夫・改善
17	乳幼児等医療費助成事業	市民課	21,203	現状維持	現行の内容が最適
18	市立保育所管理運営事業	こども未来課	29,060	見直し	拡 充
19	保育施設整備事業	こども未来課	21,486	見直し	拡 充
20	一時保育事業	こども未来課	2,203	見直し	拡 充
21	延長保育事業	こども未来課	2,615	現状維持	現行の内容が最適
22	へき地保育所管理運営事業	こども未来課	57,882	見直し	方法の工夫・改善
23	幼稚園管理運営事業	学務課	1,611	現状維持	現行の内容が最適
24	幼稚園維持修繕事業	学務課	416	現状維持	現行の内容が最適
25	私立幼稚園就園奨励補助事業	学務課	18,006	現状維持	法令等の定めあり

	事 務 事 業 名	担当課	事業費(千円) (H26決算額)	事務事業評価	
				事務事業の今後の方向性	
26	美唄市子ども会育成連絡協議会支援事業	生涯学習課	828	見直し	方法の工夫・改善
27	児童館管理運営事業	生涯学習課	14	見直し	方法の工夫・改善
28	青少年センター運営事業	生涯学習課	83	見直し	方法の工夫・改善
29	青少年健全育成事業	生涯学習課	1,194	見直し	拡 充
30	青少年問題協議会運営事業	生涯学習課	104	見直し	方法の工夫・改善
31	地域青少年指導対策補助事業	生涯学習課	234	見直し	方法の工夫・改善
32	美唄市青少年野外教育活動補助事業	生涯学習課	130	見直し	方法の工夫・改善
33	スポーツ少年団育成補助事業	生涯学習課	250	見直し	方法の工夫・改善
34	ブックスタート事業	市立図書館	361	見直し	方法の工夫・改善
35	放課後児童対策事業	生涯学習課	30,023	見直し	方法の工夫・改善
36	子育て支援対策事業	こども未来課	8,640	見直し	対象や目的変更
37	育成医療給付事業	こども未来課	948	現状維持	法令等の定めあり
38	認定こども園管理運営事業	こども未来課	9,596	現状維持	現行の内容が最適
39	子育て世帯臨時特例給付金給付事業	こども未来課	19,596	現状維持	法令等の定めあり

〈参考〉まちづくり成果指標・関連指標の取得方法

区分	整理 No	指 標	取 得 方 法	算 定 式 等
成果 指標	7	子育てしやすいまちだと思 う市民の割合	まちづくり 市民アンケート	美唄市は子育てしやすいまちだと思いますか(小学校6年生までの 子を持つ方)。 1. はい 2. いいえ 1の回答者数/全回答者数
関連 指標	16	子育てについて気軽に相 談できる相手がいない保 護者の割合	まちづくり 市民アンケート	子育てで困ったときに、気軽に相談できる相手は誰ですか。 1. 夫・妻 2. 母親、父親(配偶者の母親、父親) 3. 友人 4. 子育 て支援センターの相談員や保健センターの保健師 5. 近所の人 6. 保育所の保育士、幼稚園、学校の先生 7. 医師 8. その他() 9. 特にない 9の回答者数/全回答者数
	17	乳幼児健康診査等受診率	業務取得	
	18	保育サービスの充実度	担当課(保育所) アンケート	市の保育サービスが充実していて安心して働けると感じている保 護者数/全回答者数(市の保育所の保護者)

白紙ページ

びばい未来交響プラン施策評価表

評価対象期間

平成26年度末

【第6期総合計画「びばい未来交響プラン」の施策体系】

6つの柱	2 人と文化を育み交流が広がるまちづくり
施策の柱	[3] 人づくり
施策	(8) 学校教育

【主管課及び関係課】

主管課：学務課

関係課：指導室

【施策の目指すべき姿】

◎基礎的・基本的な学力を身につけた子どもが育つ

基礎・基本の学力をつけるための学習の習慣が身に付き、豊かな人間性を持った子どもたちが育つ学校教育が行われる。また、地域との結びつきを大切にしながら豊かな体験機会により、たくましく生きる力を持った子どもたちが育ち、幼稚園から高等学校までの特色ある教育活動の連携が生まれる。

【目指すべき姿に到達するための施策の方向性】

1 学校教育

家庭との連携により家庭学習の習慣化に向けた取組を進めるほか、地域に根ざし暮らしに学ぶという視点から、小学校において農業体験学習を地域や保護者と一体になって進め、小学校段階から、自ら学び考える力を身に付け、生きる力の育成を図るとともに、農業体験学習や食育を通じて幼稚園、中学校、高校などと学びの連携を図り、本市の特色ある教育の推進に努める。また、情報化社会に対応した児童・生徒に分かりやすい学習を進めるため、研修等による教員の情報活用能力を高める。

学校において特別な支援が必要な子どもについては、学校教育だけでなく、地域や家庭、関係機関との連携により、支援体制の充実を図る。

2 教育環境の整備

老朽化に伴う校舎の計画的な改修を実施するとともに、地域の人たちとともに登下校時の安全を見守り、児童生徒の安全の確保に取り組む。また、利用の見込みのない教職員住宅については、老朽化による危険度や景観などを勘案し、順次、解体を進める。

【まちづくり成果指標・関連指標】 施策の目指すべき姿や方向性を数値目標で表したもの

区分	整理No	指標	指標の説明	目標値	実績値			達成度 (進捗度)
				H27	H24	H25	H26	
成果指標	8	家庭学習を毎日1時間以上行っている児童・生徒の割合	学力向上のため、児童・生徒が家庭学習の習慣を身につけているかを見る指標	 H20より高める 小学生 41.3% 中学生 42.0%	小学生 36.2%	46.9%	26.5%	△14.8 ポイント
					中学生 51.2%	50.9%	57.4%	+15.4 ポイント
関連指標	19	学習内容を理解している児童・生徒の割合	学習指導の充実に向けた取組の成果を標準学力検査の結果から見る指標	 H20より高める 67.1%	64.7%	63.0%	69.0%	+1.9 ポイント
	20	不登校児童・生徒数	不登校に対する取組の状況を見る指標	 H20より減少させる 21人	19人	28人	13人	+8人

【 施策の達成（進捗）状況 】

1 学校教育

基本的生活習慣の確立と家庭学習の定着を目指し、「家庭学習の手引き」を作成・配布するなど啓発活動に努めた。このことにより、特に、中学校における家庭学習が年々着実に改善されてきている。今後は、小学校への指導を強化していく必要がある。

また、「確かな学力育成プラン」のもと、標準学力検査等の結果を経年変化で分析・検討し基礎学力の定着に活用しており、学力下位層の底上げに成果を上げてきている。併せて、不登校対策については、学校と家庭、関係機関等との連携を強化しながら継続的に取り組んでおり、今年度は数値目標を達成した。今後も早期対応に努めるとともに、教室以外での居場所や学習の場を確保するなどの取組を継続して行う必要がある。

特色ある教育の推進に関しては、グリーン・ルネサンス推進事業を中心に幼・小・中・高の連携が図られている。今後も、学校の主体的な取組みを支援できるよう環境整備等に努める必要がある。

情報化社会に対応するための教職員の専門性や職能向上に向けては、ICT研修を継続して実施することにより、情報機器を活用した学習活動が小中学校とともに確実に増えてきている。情報機器の計画的な整備とともに今後も計画的、継続的な取組みが求められる。

特別支援教育については、美唄市特別支援教育連携協議会が中心となり、職員研修の実施等を通して支援の充実に努めてきた。今後は、個別の教育支援計画を指導に生かす取組を進めるとともに、特別支援教育支援員の配置など、効果的な支援体制を継続していくことが大切である。

2 教育環境の整備

老朽化に伴う校舎の計画的な改修を実施するとともに、安全な教育環境を実現するため、小中学校の屋内運動場に設置されているバスケットゴールや照明器具などの非構造部材の耐震診断を実施したほか、中学校に配置しているコンピュータ機器の更新を実施した。

【 施策を構成する事務事業 】

	事務事業名	担当課	事業費(千円) (H26決算額)	事務事業評価	
				事務事業の今後の方向性	
1	教師用教科書・指導書購入事業	学務課	195	見直し	拡 充
2	小学校管理運営事業	学務課	54,210	現状維持	現行の内容が最適
3	小学校教材購入事業	学務課	3,109	現状維持	現行の内容が最適
4	小学校コンピュータ教育事業	学務課	885	現状維持	現行の内容が最適
5	小学校大規模改修事業	学務課	67,838	現状維持	現行の内容が最適
6	小学校維持修繕事業	学務課	8,718	現状維持	現行の内容が最適
7	小学校机椅子更新事業	学務課	615	終 了	休 止
8	中学校管理運営事業	学務課	43,281	現状維持	現行の内容が最適
9	中学校教材購入事業	学務課	2,741	現状維持	現行の内容が最適
10	中学校コンピュータ教育事業	学務課	548	見直し	拡 充
11	中学校大規模改修事業	学務課	2,448	見直し	拡 充
12	中学校維持修繕事業	学務課	5,587	現状維持	現行の内容が最適
13	中学校机椅子更新事業	学務課	267	現状維持	現行の内容が最適
14	外国人講師小中学校派遣事業	指導室	5,548	見直し	拡 充
15	小中学校文化行事開催事業	学務課	133	見直し	方法の工夫・改善
16	就学援助事業	学務課	33,492	現状維持	法令等の定めあり
17	学校保健管理事業	学務課	7,541	現状維持	法令等の定めあり
18	学校事故・災害対策事務(学校災害賠償保険等)	学務課	1,446	現状維持	現行の内容が最適
19	特別支援教育振興事業	指導室	365	現状維持	現行の内容が最適
20	不登校児童生徒指導対策事業	指導室	2,344	現状維持	現行の内容が最適
21	学校支援地域本部事業	生涯学習課	828	見直し	方法の工夫・改善
22	中体連南空知大会補助事業	学務課	268	現状維持	現行の内容が最適
23	美唄市文化・体育大会派遣補助事業	学務課	2,975	現状維持	現行の内容が最適
24	グリーン・ルネサンス推進事業	学務課	1,246	見直し	方法の工夫・改善

	事 務 事 業 名	担当課	事業費(千円) (H26決算額)	事務事業評価	
				事務事業の今後の方向性	
25	スクールバス運行維持管理事業	学務課	55,432	見直し	拡 充
26	スクールバス更新事業	学務課	5,586	終 了	休 止
27	学校給食センター管理運営事業	学務課	43,575	見直し	方法の工夫・改善
28	学校給食費管理補助事業	学務課	944	見直し	方法の工夫・改善
29	学校給食センター整備事業	学務課	22,196	見直し	方法の工夫・改善
30	言語治療教室事業	指導室	107	現状維持	現行の内容が最適
31	空知教育センター組合事業	学務課	949	現状維持	現行の内容が最適
32	小学校教職員住宅維持修繕事業	学務課	163	現状維持	現行の内容が最適
33	中学校教職員住宅維持修繕事業	学務課	179	現状維持	現行の内容が最適
34	教職員健康診断事務	学務課	1,295	現状維持	現行の内容が最適
35	教育委員会運営事務	学務課	4,414	見直し	方法の工夫・改善
36	学力向上プロジェクト推進事業	指導室	2,760	現状維持	現行の内容が最適
37	通級指導教室交通費助成事業	指導室	41	現状維持	現行の内容が最適
38	学校施設・設備整理配置事業	学務課	7,258	終 了	休 止

〈参考〉まちづくり成果指標・関連指標の取得方法

区分	整理 No	指 標	取 得 方 法	算 定 式 等
成果 指標	8	家庭学習を毎日1時間以上行っている児童・生徒の割合	業務取得	全国学力・学習状況調査(児童・生徒質問紙)において、学校の授業時間以外に1時間以上勉強をしていると回答した児童・生徒の割合
関連 指標	19	学習内容を理解している児童・生徒の割合	業務取得	標準学力検査における5段階分布の3段階以上の児童・生徒の割合
	20	不登校児童・生徒数	業務取得	不登校児童・生徒数

白紙ページ

びばい未来交響プラン施策評価表

評価対象期間

平成26年度末

【 第6期総合計画「びばい未来交響プラン」の施策体系 】

6つの柱	2 人と文化を育み交流が広がるまちづくり
施策の柱	[3] 人づくり
施策	(9) 芸術・文化・生涯学習

【 主管課及び関係課 】

主管課：生涯学習課

関係課：市立図書館

【 施策の目指すべき姿 】

◎いつでも、どこでも学ぶことができる
 自発的に学ぶための情報や場があり、誰もが、いつでも、どこでも学ぶことができる。
 また、アルテピアッツァ美唄など、芸術に触れることのできる環境や活動の発表の場が充実している。

【 目指すべき姿に到達するための施策の方向性 】

1 生涯学習活動の充実

市民カレッジや美唄サテライト・キャンパス(市民教養講座)、講演会などにより、学習機会の充実を図るとともに、市の広報紙やホームページなどを活用して学習情報の提供を行うほか、市民カレッジ等でごみや環境、少子高齢化問題など、社会の要請にこたえる学習機会を提供し、地域の課題解決や地域の教育力向上など、まちづくりと連動した生涯学習を推進する。また、市民が自ら蓄積した知識・技能・経験などを地域に活かすしくみづくりに取り組む。

総合型地域スポーツクラブ「どんまい」の取組を支援するとともに、高齢者が気軽に取り組める軽スポーツの普及やスポーツクラブの育成支援、スポーツ教室の開設や大会の開催などを通じて、多くの市民がスポーツを楽しむことができる環境づくりを進める。

スポーツ施設や社会教育施設については、必要な改修を進める。

2 歴史、文化財等の伝承と活用

歴史と文化を大切にして、広くまちづくりや市民の文化活動に活かしていくため、文化財や伝統文化の保存と活用を引き続き進める。

また、郷土史料館は、施設の改修とともに、児童・生徒や市民の郷土学習の拠点として活用が広がるよう、郷土史料の市広報紙・ホームページなどでの紹介や体験講座の開催など、利用促進に向けた取組を進める。

3 芸術・文化に親しむ環境づくり

優れた芸術に触れることのできる環境づくりを進めるとともに、アルテピアッツァ美唄の利用促進と他の施設などとの連携を図る。

市民が自主的に行う芸術・文化活動については、豊かなところを醸成し、まちの活性化につながるよう、市民文化祭の開催やサークル・団体の育成、相互交流など、自主的な活動に対する支援を行う。

【 まちづくり成果指標・関連指標 】 施策の目指すべき姿や方向性を数値目標で表したもの

区分	整理No	指 標	指 標 の 説 明	目標値	実績値			達成度 (進捗度)
				H27	H24	H25	H26	
成果指標	9	生涯学習・スポーツに取り組んでいる市民の割合	生涯学習・スポーツに関する施設や情報の提供により、市民が生涯学習活動の機会を得られているかを見る指標	38.0%	42.5%	43.6%	42.9%	112.9%
関連指標	21	市内で芸術・文化鑑賞をした市民の割合	身近に芸術・文化にふれる機会があるかを見る指標	30.0%	37.0%	29.6%	27.7%	92.3%
	22	市民文化祭に参加した市民の人数	文化活動に関心があり、実践していることを市民文化祭の参加者数から見る指標	1,500人	1,170人	1,003人	983人	65.5%
	23	スポーツ教室年間参加者数	スポーツに関心があり、実践していることをスポーツ教室の年間参加者数から見る指標	800人	2,950人	2,942人	2,935人	366.9%

【 施策の達成（進捗）状況 】

「生涯学習活動の充実」については、市民カレッジ（7講座）に延べ186人が参加、また、平成24年度から始めた美唄サテライト・キャンパスの取り組みでは市民教養講座のうち5講座を担当、延べ308人が参加し市民ニーズの高さを示しているほか、各種講座や講演会にも多くの市民が参加した。スポーツの振興では、総合体育館メインアリーナの屋根を大規模改修し利用者の安全確保を行い、老朽化した体育センターに替わり、旧北海道美唄工業高等学校の体育施設を北海道教育委員会から借り受け、新たな体育センターとして供用を開始したほか、北海道日本ハムファイターズとの連携協定締結を契機として野球教室やダンス教室を開催して子どもたちの育成に取り組んだ。

「歴史、文化財等の伝承と活用」については、道指定文化財の屯田兵屋や旧桜井家住宅など老朽化の進む木造建造物の維持修繕に努めているほか、平成25年度からは木造文化財の保存について他市の状況を文化財保護委員に視察いただき、今後の保存の在り方について検討をいただく。

郷土史料館は、平成21年度から冬期間を閉館しているが、この期間を活用して市内各所で移動史料館を開催したほか、平成25年2月にロシアに隕石が落下し、「光珠内いん石」が最注目されたことから小樽市総合博物館との共催で特別企画展を開催、期間中913名が入館した。

「芸術・文化に親しむ環境づくり」については、公民館事業により多くの文化サークルの活動を支援、特に市民文化祭には、996人が出品・出演し、盛大に開催された。また、美唄市文化協会が中心となり、演劇や演奏会、文化講座が開催されほか伝統文化子どもフェスティバルや子ども書初め大会の開催により子どもたちに伝統文化に触れる機会が提供された。

指標では、「生涯学習・スポーツに取り組む市民の割合」は横ばいに推移しているが、「市内で芸術・文化鑑賞をした市民の割合」については減少傾向にあることから市民ニーズに合ったプログラムの検討が必要である。「市民文化祭に参加した市民の人数」は人口減の影響もあり減少傾向である。「スポーツ教室年間参加者数」については、市の直営事業を整理してきている一方で、美唄市体育協会や総合型地域スポーツクラブ「どんまい」などの団体が主催するスポーツ教室が盛況であり、全体では横ばい傾向にあるが、今後一層、関係団体と連携しながら事業の実施に取り組む必要がある。

【 施策を構成する事務事業 】

	事 務 事 業 名	担当課	事業費(千円) (H26決算額)	事務事業評価	
				事務事業の今後の方向性	
1	アルテピアッツァ美唄管理運営事業	生涯学習課	20,074	見直し	方法の工夫・改善
2	公民館・市民会館管理運営事業	生涯学習課	33,858	現状維持	現行の内容が最適
3	市民会館文化補助事業	生涯学習課	800	見直し	方法の工夫・改善
4	南美唄コミュニティセンター管理運営事業	生涯学習課	1,087	見直し	方法の工夫・改善
5	郷土史料館管理運営事業	生涯学習課	1,409	見直し	方法の工夫・改善
6	社会教育施設管理事業	生涯学習課	336	見直し	方法の工夫・改善
7	生涯学習事業	生涯学習課	190	見直し	方法の工夫・改善
8	文化財保護事業	生涯学習課	570	見直し	方法の工夫・改善
9	スポーツ大会・教室開設事業	生涯学習課	336	見直し	方法の工夫・改善
10	保健体育管理事務	生涯学習課	379	見直し	方法の工夫・改善
11	体育施設管理運営事業	生涯学習課	8,456	見直し	方法の工夫・改善
12	温水プール管理運営事業	生涯学習課	37,894	見直し	方法の工夫・改善
13	体育センター管理運営事業	生涯学習課	6,405	見直し	方法の工夫・改善
14	総合体育館管理運営事業	生涯学習課	29,028	見直し	方法の工夫・改善
15	総合体育館整備事業	生涯学習課	124,761	見直し	拡 充
16	図書整備と資料奉仕活動事業	市立図書館	2,224	現状維持	現行の内容が最適
17	地域奉仕活動と巡回奉仕活動事業	市立図書館	455	現状維持	現行の内容が最適
18	図書館OA化推進事業	市立図書館	547	現状維持	現行の内容が最適
19	図書館管理運営事業	市立図書館	2,968	現状維持	現行の内容が最適
20	児童図書整備と資料奉仕活動事業	市立図書館	805	現状維持	現行の内容が最適
21	美唄サテライト・キャンパス事業	生涯学習課	50	現状維持	現行の内容が最適
22	温水プール整備事業	生涯学習課	944	見直し	拡 充

〈参考〉まちづくり成果指標・関連指標の取得方法

区分	整理 No	指 標	取 得 方 法	算 定 式 等
成果 指標	9	生涯学習・スポーツに取り組んでいる市民の割合	まちづくり 市民アンケート	生涯学習として何か活動を行っていますか。 1. 教養・資格 2. 芸術・文化 3. 趣味・娯楽 4. スポーツ・レクリエーション 5. ボランティアや地域活動 6. その他 7. 特に行っていない 1～6の回答者数／全回答者数
関連 指標	21	市内で芸術・文化鑑賞をした市民の割合	まちづくり 市民アンケート	この1年間に市内で行われた音楽会、美術展、演劇など、芸術・文化の鑑賞のためにどのくらい足を運びましたか。 1. 5回以上 2. 2～4回 3. 1回 4. 鑑賞していない 1～3の回答者数／全回答者数
	22	市民文化祭に参加した市民の人数	業務取得	市民文化祭に出展、出演した市民の人数
	23	スポーツ教室年間参加者数	業務取得	市や美唄市体育協会が実施する各種スポーツ教室に参加した市民の人数

白紙ページ

びばい未来交響プラン施策評価表

評価対象期間

平成26年度末

【 第6期総合計画「びばい未来交響プラン」の施策体系 】

6つの柱	2 人と文化を育み交流が広がるまちづくり
施策の柱	[3] 人づくり
施策	(10) 男女共同参画

【 主管課及び関係課 】

主管課：企画課

【 施策の目指すべき姿 】

◎男女が平等であるという意識が広く浸透する

性別による役割分担意識にとらわれない男女平等意識、人権意識が広く浸透し、あらゆる分野において対等なパートナーとして男女がともに参画できる社会になっていく。

【 目指すべき姿に到達するための施策の方向性 】

1 啓発活動と協働による取り組み

男女共同参画やワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の考え方が広く理解されるよう、講演会やワークショップの開催、市の広報紙やホームページなどを活用した啓発活動を継続して行うとともに、講演会等での託児サービスの充実など、性別や家庭環境などにかかわらず暮らしの質を高めることができるよう、協働による活動を広げていく。

2 女性登用の推進

政策・方針決定の場への女性参画を推進するため、市の審議会等への女性の登用を進める。

3 暴力の根絶に向けたネットワークづくり

あらゆる暴力を根絶するため、関係機関、団体の相互の連携強化を進め、配偶者からの暴力の防止、被害者の保護や自立支援のためのネットワークづくりに取り組む。

【 まちづくり成果指標・関連指標 】 施策の目指すべき姿や方向性を数値目標で表したもの

区分	整理 No	指 標	指 標 の 説 明	目標値	実績値				達成度 (進捗度)
				H27	H24	H25	H26		
成果 指標	10	固定的な性別役割分担意識を持たない市民の割合	男女共同参画の考え方の浸透度を見る指標	60.0%	55.0%	54.6%	54.0%	90.0%	
関連 指標	24	現在、男女が平等だと感じている市民の割合	男女共同参画の取組の成果を男女平等と感じている市民の割合から見る指標	30.0%	53.3%	51.3%	51.8%	172.7%	
	25	市の審議会等への女性の登用率	男女共同参画の状況を市の審議会等への女性の登用率から見る指標	30.0%	21.4%	20.0%	20.7%	69.0%	

【 施策の達成（進捗）状況 】

1. 啓発活動と協働による取組み
美唄市男女共同参画推進協議会と連携し、講演会の開催や広報紙(年2回)の発行、市内イベントでの啓発活動などを行い、男女共同参画社会の実現に向けた取組を進めた。
今後もこれらの取組を継続していくとともに、広報紙やホームページ等を活用し、より一層の啓発活動に努めていく。
2. 女性登用の推進
審議会等への女性登用率の向上を図るため、各審議会等に対し女性委員の登用を積極的に働きかけていく。
3. 暴力の根絶に向けたネットワークづくり
女性や子どもへの暴力根絶に向けた取組として、啓発パンフレットや啓発ポスターを公共施設に配置したほか、市の広報紙やホームページに啓発記事を掲載した。また、配偶者暴力防止に関する会議に参加し、国や道をはじめ関係団体との連携を深めた。今後とも、これらの取組を継続していく。

【 施策を構成する事務事業 】

	事 務 事 業 名	担当課	事業費(千円) (H26決算額)	事務事業評価	
				事務事業の今後の方向性	
1	男女共同参画社会形成促進事業	企画課	39	現状維持	現行の内容が最適

〈参考〉まちづくり成果指標・関連指標の取得方法

区分	整理 No	指 標	取 得 方 法	算 定 式 等
成果 指標	10	固定的な性別役割分担意識を持たない市民の割合	まちづくり 市民アンケート	「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という考え方についてどう思いますか。 1. 同感しない 2. どちらかといえば同感しない 3. どちらかといえば同感する 4. 同感する 5. わからない 1・2の回答者数／全回答者数
関連 指標	24	現在、男女が平等だと感じている市民の割合	まちづくり 市民アンケート	現在の男女の地位の平等感についてどのように感じていますか。 1. 平等である 2. どちらかといえば男性の方が優遇されている 3. どちらかといえば女性の方が優遇されている 1の回答数／全回答数
	25	市の審議会等への女性の登用率	業務取得	審議会等の女性委員の数／審議会等の委員の数

びばい未来交響プラン施策評価表

評価対象期間

平成26年度末

【第6期総合計画「びばい未来交響プラン」の施策体系】

6つの柱	2 人と文化を育み交流が広がるまちづくり
施策の柱	[3] 人づくり
施策	(11) 平和施策

【主管課及び関係課】

主管課：総務課

【施策の目指すべき姿】

◎平和を願い、考える機会がある

市民一人ひとりが平和を願い、平和の大切さを考える機会を持つことができる。

【目指すべき姿に到達するための施策の方向性】

1 啓発活動と協働による取組み

核兵器廃絶平和都市宣言に込めた世界平和の願いが小中学生から高齢者まで広い世代にわたり浸透していくよう、啓発活動を継続するとともに、多くの市民や団体との協働による平和祈念行事を開催して、平和について考える機会を確保しながら、世界平和と核兵器の廃絶を願う市民の輪を更に広げていく。

2 他都市との連携

平和首長会議では、「2020ビジョン(核兵器廃絶のための緊急行動)」に基づく取組の一つとして、世界の都市や自治体による賛同署名活動に取り組んでおり、美唄市もこの動きに連動するなど、平和を願う国内外の都市との連携を図っていく。

【まちづくり成果指標・関連指標】 施策の目指すべき姿や方向性を数値目標で表したもの

区分	整理No	指標	指標の説明	目標値	実績値			達成度 (進捗度)
				H27	H24	H25	H26	
成果指標	11	平和祈念行事数	平和について考える契機となる行事の数から、平和施策の継続した取組状況を見る指標	4件	4件	4件	4件	100.0%

【施策の達成（進捗）状況】

啓発活動と協働による取組については、まちづくりの理念である「平和の希求」を具体化するため、平和ミニコンサート及びポスター展を開催したほか、図書館に平和図書コーナーを設置するなど、「平和祈念行事」を実施し、核廃絶や平和の大切さを啓発した。

他都市との連携については、161か国、6,900を超える都市や自治体により構成される平和首長会議が取り組む署名活動を行ったほか、今後とも核兵器廃絶に向けた具体的な取組が行われるよう、平和を願う国内外の都市や自治体との連携を図っていく。

【施策を構成する事務事業】

	事務事業名	担当課	事業費(千円) (H26決算額)	事務事業評価	
				事務事業の今後の方向性	
1	平和祈念事業	総務課	44	見直し	方法の工夫・改善

〈参考〉まちづくり成果指標・関連指標の取得方法

区分	整理No	指標	取得方法	算定式等
成果指標	11	平和祈念行事数	業務取得	平和祈念のための年間行事数

白紙ページ

びばい未来交響プラン施策評価表

評価対象期間

平成26年度末

【 第6期総合計画「びばい未来交響プラン」の施策体系 】

6つの柱	3 豊かな景観あふれるエコロジーなまちづくり
施策の柱	[4] 環境づくり
施策	(12) 自然保護

【 主管課及び関係課 】

主管課：生活環境課

【 施策の目指すべき姿 】

◎豊かで美しい自然が残っている

ラムサール条約登録湿地である宮島沼をはじめ市内に残る貴重な自然環境を維持、保全することにより、多くの人が楽しむことができる豊かで美しい自然が残っている。

【 目指すべき姿に到達するための施策の方向性 】

1 宮島沼の保全と活用

宮島沼は国際的にも貴重な渡り鳥の寄留地であり、地域住民や関係機関と協力しながら、ワイズユースの推進に取り組み、周辺環境整備を進めるとともに、子どもたちが自然の大切さを感じ、野鳥や植物等を観察しながら身近に自然と親しめるよう、環境学習を推進する。

また、宮島沼の浅底化の防止やマガンによる小麦の食害対策については、道との連携など、広域的な取組を進める。

2 自然を大切にする協働のしくみづくり

市内の豊かな自然とのふれあいを大切に、人と自然が共生できる社会を目指して、必要な情報を発信し、市民、企業、行政がそれぞれの立場で役割を果たし、生物多様性に配慮した協働による活動を進めていくしくみづくりに取り組む。

【 まちづくり成果指標・関連指標 】 施策の目指すべき姿や方向性を数値目標で表したもの

区分	整理No	指標	指標の説明	目標値	実績値			達成度 (進捗度)
				H27	H24	H25	H26	
成果指標	12	市内の自然環境の満足度	自然環境の保全と活用の取組の成果を市民の満足度から見る指標	 H20より高める 81.0%	88.9%	85.3%	87.7%	+6.7 ポイント
関連指標	26	宮島沼に関する環境学習会への年間参加者数	自然環境の保全と活用の取組状況を環境学習参加者数から見る指標	300人	76人	53人	51人	17.0%

【 施策の達成（進捗）状況 】

「市内の自然環境の満足度」については、目標値を達成している。

「宮島沼に関する環境学習会への参加者数」については、施設の改修工事による学習会の開催数の減少などにより、目標値が達成できない状況となっているが、今後は宮島沼カントリーフェスなどのイベント時に自然環境の保全と活用の取組についてPRし環境学習を推進する。

また、宮島沼の環境を保全するため、沼の再生やワイズユースなどの取組を進めるとともに、人と自然が共生できる社会を目指して、自然環境保全や生物多様性に配慮した活動を進める。

【 施策を構成する事務事業 】

	事 務 事 業 名	担当課	事業費(千円) (H26決算額)	事務事業評価	
				事務事業の今後の方向性	
1	宮島沼水鳥・湿地センター管理運営事業	生活環境課	510	現状維持	現行の内容が最適
2	宮島沼自然環境保全基礎調査事業	生活環境課	4,895	現状維持	現行の内容が最適

〈参考〉まちづくり成果指標・関連指標の取得方法

区分	整理 No	指 標	取 得 方 法	算 定 式 等
成果 指標	12	市内の自然環境の満足度	まちづくり 市民アンケート	市内の自然環境について、どのように感じていますか。 1. 満足 2. どちらかといえば満足 3. 普通 4. どちらかといえば 不満 5. 不満 1～3の回答者数／全回答者数
関連 指標	26	宮島沼に関する環境学習 会への年間参加者数	業務取得	宮島沼に関する環境学習会への年間参加者数

びばい未来交響プラン施策評価表

評価対象期間

平成26年度末

【 第6期総合計画「びばい未来交響プラン」の施策体系 】

6つの柱	3 豊かな景観あふれるエコロジーなまちづくり
施策の柱	[4] 環境づくり
施策	(13) 環境行動

【 主管課及び関係課 】

主管課：生活環境課

【 施策の目指すべき姿 】

◎地球にやさしい生活をする市民が増えていく
多くの人が環境を大切にしている意識を持ち、環境に配慮した行動を取っている。

【 目指すべき姿に到達するための施策の方向性 】

1 環境意識の高揚

市民一人ひとりが身近な地域や地球規模の環境について理解を深め、環境を大切にしている行動がとれるよう環境学習を推進する。

市民が環境に対する意識を高め、環境保全活動へと結びつけるために、環境に関する情報を収集し、これらの情報が市民や事業者により有効に活用されるよう情報提供を充実させる。

2 環境行動の実践

市民や事業者、団体の自主的な環境保全活動を促進するとともに、必要な支援を行う。また、市民、事業者、市との協働による環境保全活動に取り組む。

【 まちづくり成果指標・関連指標 】 施策の目指すべき姿や方向性を数値目標で表したもの

区分	整理No	指標	指標の説明	目標値	実績値			達成度 (進捗度)
				H27	H24	H25	H26	
成果指標	13	地球にやさしい生活をしている市民の割合	環境への負荷を減らす取組の成果を具体的な行動を行っている市民の割合から見る指標	 H20より高める 65.2%	80.0%	79.1%	74.4%	+9.2 ポイント
関連指標	27	エコセミナー参加者数	環境に配慮した生活や低炭素社会づくりに対する関心の度合いをエコセミナー参加者数から見る指標	100人	78人	80人	134人	134.0%

【 施策の達成（進捗）状況 】

「地球にやさしい生活をしている市民の割合」、「エコセミナー参加者数」とともに、目標値を達成している。

平成26年度のエコセミナーは、「生ごみの分別について」の説明会を同時開催したため、前年と比較して参加者が増加したと考えられる。

今後、エコセミナーを継続して開催し、環境を大切にしている行動がとれるよう環境学習を推進するとともに、環境に関する情報提供を充実させ、市民の環境意識の高揚を図る。

また、市民や事業者、団体の環境保全活動や環境美化活動を促進するため、必要な支援を行い、環境行動の実践に取り組む。

【 施策を構成する事務事業 】

	事 務 事 業 名	担当課	事業費(千円) (H26決算額)	事務事業評価	
				事務事業の今後の方向性	
1	公害防止対策事業	生活環境課	1,734	現状維持	現行の内容が最適
2	環境衛生推進事業	生活環境課	8,799	現状維持	現行の内容が最適
3	野犬掃とう事業	生活環境課	402	現状維持	現行の内容が最適
4	墓地管理運営事業	生活環境課	1,399	見直し	方法の工夫・改善
5	火葬場管理運営事業	生活環境課	22,141	見直し	方法の工夫・改善
6	火葬場整備事業	生活環境課	4,121	見直し	方法の工夫・改善

〈参考〉まちづくり成果指標・関連指標の取得方法

区分	整理 No	指 標	取 得 方 法	算 定 式 等
成果 指標	13	地球にやさしい生活をしている市民の割合	まちづくり 市民アンケート	地球環境にやさしい生活をするために行っていることはありますか。 1. 節電・節水に努めている 2. 自動車のアイドリングをひかえている 3. 買い物にマイバックを持参している 4. 洗剤などは詰め替え可能な商品を選んでいる 5. 再生素材を使用した商品になるべく選んでいる 6. ごみの分別をきちんとしている 7. 生ごみは、たい肥化してごみの減量に努めている 8. その他() 9. 特に行っていない 1～8のうち、3つ以上行っている回答者数／全回答者数
関連 指標	27	エコセミナー参加者数	業務取得	エコセミナー参加者数

びばい未来交響プラン施策評価表

評価対象期間

平成26年度末

【 第6期総合計画「びばい未来交響プラン」の施策体系 】

6つの柱	3 豊かな景観あふれるエコロジーなまちづくり
施策の柱	[4] 環境づくり
施策	(14) ごみ処理

【 主管課及び関係課 】

主管課：生活環境課

【 施策の目指すべき姿 】

◎ごみの発生が抑えられ、正しく処理されている

ごみの発生・排出を少なくし、資源の積極的なリサイクルを進めることにより、環境に与える負荷を軽減する資源循環型社会に向かっていく。

また、環境教育が行われ、ごみの適正排出についての理解が深まっていく。

【 目指すべき姿に到達するための施策の方向性 】

1 ごみの適正処理

ごみの分別排出の徹底により、適正分別率が向上することで、ごみの発生抑制と資源化できるごみの適正な排出を促進していくとともに、生ごみの中間処理施設整備やリサイクルセンターの充実により資源循環型社会を推進していく。

また、生ごみ以外の燃やせるごみについても、広域による中間処理施設の整備により、適正な処理を行う。

し尿及び浄化槽汚泥についても、処理量の減少や処理施設の老朽化が進んでいることから、新たに広域的な処理をするための施設整備に取り組み、適正処理を図る。

2 ごみの減量と資源リサイクル

衛生協会の連合会やサンアール推進員と連携した啓発活動等を通じ、ごみの減量化等に対する市民意識の高揚を図るとともに、生産、流通、消費の各段階でのごみの発生抑制や排出されたごみの減量化・リサイクルの推進により、「ごみゼロ」に向けた環境について、学習会や情報交換などの取組を進める。

【 まちづくり成果指標・関連指標 】 施策の目指すべき姿や方向性を数値目標で表したもの

区分	整理No	指標	指標の説明	目標値	実績値			達成度 (進捗度)
				H27	H24	H25	H26	
成果指標	14	ごみの適正分別率	ごみの適正な排出に関する意識の向上と実践度を見る指標	86.0%	77.0%	78.5%	87.5%	101.7%
関連指標	28	市民1人当たり年間ごみ排出量	ごみ排出量が減少しているかを見る指標	0.36t	0.38t	0.34t	0.34t	△0.02t
	29	ごみ不法投棄件数	ごみが適正に処理されているかを見る指標	0件	205件	201件	229件	229件 超過
	30	リサイクル率	ごみのリサイクルの状況を見る指標	18.2%	14.0%	18.9%	19.7%	108.2%

【 施策の達成（進捗）状況 】

「ごみの適正分別率」、「市民1人当たりの年間ごみ排出量」、「リサイクル率」は、目標値を達成している。

「ごみの不法投棄件数」は、目標値を達成していないため、市の清掃指導員による巡回指導や啓発活動を継続する。

今後、ごみの適正分別率の向上を図り、生ごみの堆肥化施設、リサイクルセンター、広域による焼却施設の適切な管理により資源循環型社会を推進し、ごみの適正処理に努める

また、サンアール推進員などと連携した啓発活動を通じ、ごみの減量化と資源リサイクルの取り組みを進める。

【 施策を構成する事務事業 】

	事 務 事 業 名	担当課	事業費(千円) (H26決算額)	事務事業評価	
				事務事業の今後の方向性	
1	ごみの減量化・再資源化推進事業	生活環境課	81,511	見直し	方法の工夫・改善
2	リサイクルセンター管理運営事業	生活環境課	19,364	見直し	方法の工夫・改善
3	ごみ収集運搬等事業	生活環境課	97,972	現状維持	現行の内容が最適
4	最終処分場管理運営事業	生活環境課	103,595	見直し	方法の工夫・改善
5	ごみ処理センター管理運営事業	生活環境課	7,330	現状維持	現行の内容が最適
6	し尿処理場管理運営事業	生活環境課	63,828	見直し	対象や目的変更
7	し尿収集運搬等事業	生活環境課	37,895	見直し	方法の工夫・改善
8	し尿共同処理施設整備事業	生活環境課	81,208	終 了	事業完了
9	ごみ広域処理焼却施設整備事業	生活環境課	346,623	終 了	事業完了
10	生ごみ堆肥化施設整備事業	生活環境課	339,685	見直し	縮 小

〈参考〉まちづくり成果指標・関連指標の取得方法

区分	整理 No	指 標	取 得 方 法	算 定 式 等
成果 指標	14	ごみの適正分別率	業務取得	適正分別排出量(可燃ごみ総排出量×組成分析より算出した可燃ごみ適正分別率+不燃ごみ総排出量×組成分析より算出した不燃ごみ適正分別率)÷ごみ総埋立量
関連 指標	28	市民1人当たり年間ごみ 排出量	業務取得	年間ごみ収集量÷年度末住民基本台帳人口
	29	ごみ不法投棄件数	業務取得	市で対応した年間不法投棄件数
	30	リサイクル率	業務取得	資源ごみ収集量÷ごみ総排出量

びばい未来交響プラン施策評価表

評価対象期間

平成26年度末

【第6期総合計画「びばい未来交響プラン」の施策体系】

6つの柱	3 豊かな景観あふれるエコロジーなまちづくり
施策の柱	[5] うるおいづくり
施策	(15) 都市基盤整備

【主管課及び関係課】

主管課：都市計画課

関係課：都市整備課・建築住宅課・水道課
・下水道課

【施策の目指すべき姿】

◎機能的な都市基盤が整っている

道路や下水道など、市民生活を送る上で必要な都市基盤が整い、機能的な都市環境ができている。

【目指すべき姿に到達するための施策の方向性】

1 土地利用と道路交通網などの整備

人口規模に見合ったコンパクトな市街地の形成に向けて、現在の市街地を基本とした用途地域の見直しを行うなど、秩序ある都市空間づくりを進める。

道路整備を継続するとともに、橋りょう長寿命化修繕計画に基づく改修等のほか、国道12号の4車線化の早期完成に向けた要望を継続して行う。

道路の除排雪については、広域ブロック化に基づいた効率的な除排雪を行い、冬期の安全な生活と交通を確保する。

2 公営住宅

美唄市公営住宅ストック総合活用計画を見直し、ユニバーサルデザインの視点に立った公営住宅等の改善による長寿命化を図り、安全性を確保しながら効率的な維持管理を行う。

3 上下水道

下水道については、美唄市流域関連公共下水道計画に合わせ、峰延地区、茶志内地区、光珠内地区など、計画的に整備を進め、普及率の向上を図る。

上水道については、水質の管理を徹底し、安全で安定した飲料水の供給を維持するため、老朽配水管の改良と浄水場の整備を進める。

【まちづくり成果指標・関連指標】 施策の目指すべき姿や方向性を数値目標で表したもの

区分	整理No	指標	指標の説明	目標値	実績値			達成度 (進捗度)
				H27	H24	H25	H26	
成果指標	15	都市機能の満足度	都市基盤整備の成果をJR美唄駅を中心とした都市機能に対する市民の満足度から見る指標	 H20より高める 66.3%	73.4%	68.3%	67.7%	+1.4 ポイント
関連指標	31	道路舗装率	道路整備の状況を舗装率から見る指標	55.0%	52.6%	52.9%	52.9%	96.2%
	32	道路除排雪の満足度	道路の除排雪に関する成果を市民の満足度から見る指標	 H20より高める 41.6%	53.8%	53.6%	63.9%	+22.3 ポイント
	33	下水道普及率	生活基盤整備の達成度を下水道の普及率から見る指標	81.3%	74.8%	75.2%	76.9%	94.6%

【 施策の達成（進捗）状況 】

1. 土地利用と道路交通網などの整備

道路新設改良事業については、西21線の改良、美培線の改良舗装、進徳東1号線の舗装、峰延地区ほか2地区の簡易舗装、沼の内地区の道路改良、峰延地区ほか6地区の側溝整備を実施した。

また、都市計画街路整備事業については、東5条北6丁目地区の改良舗装、東2条南7丁目地区ほか3地区の側溝整備を実施した。なお、道路改良率は69.8%、道路舗装率は52.9%となる。

橋りょうについては、橋梁長寿命化修繕計画に基づき、光専橋・光専橋その2と秋星橋の架換えを実施した。

除排雪については、市民生活や経済活動の基盤となる道路交通網を確保するため、効率的な除排雪の実施に努めた。また、中心市街地についても、民間との協力・連携した除排雪を実施した。

今後も、道路整備を継続するとともに、橋梁長寿命化修繕計画による修繕及び改修のほか、国道12号の4車線化や主要道道美唄富良野線、旭通などの道道整備の早期完成に向けた要望を行うこととする。

2. 公営住宅

市営住宅については、東光団地、東明恵愛団地、美の里団地の外部改修、ゆたかニュータウンの内部改修など、入居されている方々の居住環境の改善を行ったほか、民間住宅については、引き続き改修促進の助成を実施した。

今後も、市営住宅については、安全性を確保しながら効率的な維持管理を行うこととする。

3. 上下水道

上水道については、安全な水を安定して供給するため、老朽化した配水管等の改良事業を実施し、有収率の向上や配水管の耐震化を進めたほか、赤水の解消に努めた。

今後も、安全で安定した水の供給を維持するため適正な水質管理に努め、老朽配水管の改良と浄水場の施設整備を進めることとする。

下水道については、石狩川流域下水道中部処理区事業を引き続き実施するとともに、東明・茶志内・峰延地区の汚水整備を実施し、汚水処理区域の拡大と水洗化の促進に努めた。なお、普及率は76.9%、水洗化率は96.0%となりました。

また、下水道処理区域外（農村地区など）における個別排水処理施設の計画的な設置に努めた。

今後は、東明地区、峰延地区、茶志内地区、光珠内地区の未整備地区を計画的に整備を進め、普及率の向上を図ることとする。

【 施策を構成する事務事業 】

	事 務 事 業 名	担当課	事業費(千円) (H26決算額)	事務事業評価	
				事務事業の今後の方向性	
1	都市計画一般管理事務	都市計画課	610	見直し	方法の工夫・改善
2	土地区画整理事業用地取得事業	都市計画課	94,200	終 了	廃 止
3	土木一般管理事務	都市計画課	2,292	見直し	方法の工夫・改善
4	道路台帳更新事務	都市計画課	4,018	現状維持	現行の内容が最適
5	道路用地取得事業	都市計画課	3,403	終 了	廃 止
6	都市計画街路整備事業	都市整備課	19,211	見直し	拡 充
7	道路新設改良事業	都市整備課	217,510	見直し	拡 充
8	道路維持管理事業	都市整備課	113,247	見直し	拡 充
9	橋りょう維持管理事業	都市整備課	2,241	見直し	拡 充
10	除排雪事業	都市整備課	365,968	見直し	方法の工夫・改善
11	中心市街地除排雪事業	都市整備課	19,242	現状維持	現行の内容が最適
12	街路灯補助事業	都市整備課	10,190	見直し	拡 充

Index	事 務 事 業 名	担当課	事業費(千円) (H26決算額)	事務事業評価	
				事務事業の今後の方向性	
13	交通安全施設整備事業	都市整備課	3,870	見直し	拡 充
14	橋りょう新設改良事業	都市整備課	26,749	見直し	拡 充
15	河川整備事業	都市整備課	15,113	見直し	拡 充
16	河川維持管理事業	都市整備課	5,515	見直し	拡 充
18	市営住宅維持管理事業	建築住宅課	30,732	見直し	方法の工夫・改善
19	公営住宅改善事業	建築住宅課	50,138	現状維持	現行の内容が最適
20	住宅改修促進助成事業	建築住宅課	10,230	現状維持	現行の内容が最適
21	建築指導事務	建築住宅課	117	見直し	方法の工夫・改善
22	水道事業	水道課	958,427	見直し	方法の工夫・改善
23	上水道増補改良事業	水道課	244,332	見直し	方法の工夫・改善
25	工業用水道事業	水道課	79,930	見直し	方法の工夫・改善
26	汚水整備事業	下水道課	158,141	見直し	方法の工夫・改善
27	個別排水処理施設整備事業	下水道課	27,358	現状維持	現行の内容が最適
28	個別排水処理施設維持管理事業	下水道課	22,589	見直し	拡 充
29	受益者負担金賦課徴収事務	下水道課	47,548	現状維持	現行の内容が最適
30	下水道使用料賦課徴収事務	下水道課	33,108	現状維持	現行の内容が最適
31	水洗便所普及促進事業	下水道課	4,446	現状維持	現行の内容が最適
32	下水道管渠維持管理事業	下水道課	39,363	見直し	拡 充
33	石狩川流域下水道組合事業	下水道課	44,396	現状維持	現行の内容が最適
34	石狩川流域下水道整備事業	下水道課	20,335	現状維持	現行の内容が最適

〈参考〉まちづくり成果指標・関連指標の取得方法

区分	整理 No	指 標	取 得 方 法	算 定 式 等
成果 指標	15	都市機能の満足度	まちづくり 市民アンケート	J R美唄駅を中心とした道路や公共交通、公園の配置など、都市機能全体についてどのように感じていますか。 1. 満足 2. やや満足 3. 普通 4. やや不満 5. 不満 1～3の回答者数／全回答者数
関連 指標	31	道路舗装率	業務取得	舗装済市道延長／市道延長
	32	道路除排雪の満足度	まちづくり 市民アンケート	道路除排雪の状況について、どのように感じていますか。 1. 満足 2. どちらかといえば満足 3. 普通 4. どちらかといえば不満 5. 不満 1～3の回答者数／全回答者数
	33	下水道普及率	業務取得	処理区域内人口／年度末住民基本台帳人口

白紙ページ

びばい未来交響プラン施策評価表

評価対象期間

平成26年度末

【 第6期総合計画「びばい未来交響プラン」の施策体系 】

6つの柱	3 豊かな景観あふれるエコロジーなまちづくり
施策の柱	[5] うるおいづくり
施 策	(16) 景観・緑づくり

【 主管課及び関係課 】

主管課：都市整備課

関係課：農林整備課

【 施策の目指すべき姿 】

◎景観づくりの活動が広がっている

花や緑にあふれたうるおいのある景観を楽しむことができるように、市民との協働で景観づくりが進んでいます。

【 目指すべき姿に到達するための施策の方向性 】

1 景観づくり

公園を適切に維持管理するとともに、公園施設の点検による修繕や更新等のほか、景観の向上や緑づくりに向けた活動を市民と市との協働で取り組む。

2 森林の保全と活用

森林の役割について広く理解されるよう、森林を活用して市民が学ぶことができる場をつくるとともに、森林の適正管理を進め、森林の面積を維持していく。

また、地球温暖化防止に向けた企業の環境貢献活動として、植樹運動が広がりを見せていることから、CO2吸収能力が高い樹種の育成・普及に取り組む団体等と連携・協力し、運動の促進を図る。

【 まちづくり成果指標・関連指標 】 施策の目指すべき姿や方向性を数値目標で表したもの

区分	整理 No	指 標	指 標 の 説 明	目標値	実績値			達成度 (進捗度)
				H27	H24	H25	H26	
成果 指標	16	コミュニティガーデン数	地域が主体となった景観づくりの実践状況を町内会等で管理する花壇の数から見る指標	10箇所	4箇所	6箇所	6箇所	60.0%
関連 指標	34	公園・緑地の利用率	公園・緑地の適正管理の状況を利用率から見る指標	 H20より高める 44.3%	45.8%	44.4%	44.9%	+0.6 ポイント
	35	森林面積	森林面積が維持されている状況を見る指標	12,265ha	12,279ha	12,279ha	12,266ha	100.0%

【 施策の達成（進捗）状況 】

平成23年度から実施しているコミュニティガーデンの設置(地域の花壇づくり)に対する支援については、平成26年度は、市内3団体(1町内会・2法人)で植樹帯への花の植え付けが行われた。

市民の方々への活動紹介として広報紙メロディや市ホームページでの情報発信や市役所(1階ロビー)、ふれあいサロン(コアビバイ内)でのパネル展示などにより紹介を行った。

今後も景観づくりに対する意識の向上及び積極的な制度等のPRを行い、コミュニティガーデンの拡大を図る。

公園・緑地については、利用率は目標値を達成しているが、老朽化が進む公園施設の再整備が必要となっている。平成26年度は、市内20公園の遊具等の点検結果に基づき一部遊具等の再整備を実施した。今後も計画的に公園施設の再整備を行うことで公園・緑地の利用率向上を図る。

森林については、国・道と連携して森林所有者に対し、植林や適正管理に関する情報提供や支援を行っている。

また、一般の方々にも森林の役割について広く理解していただけるよう、市内の国有防風林を活用し、小学生や保護者を対象とした森林体験学習会を実施している。

今後もこれらの取り組みを通じて、森林の保全とその必要性に関する意識の向上を図る。

【 施策を構成する事務事業 】

	事務事業名	担当課	事業費(千円) (H26決算額)	事務事業評価	
				事務事業の今後の方向性	
1	公園維持管理事業	都市整備課	39,019	見直し	拡 充
2	公園施設等再整備事業	都市整備課	5,670	現状維持	現行の内容が最適
3	緑化管理推進事業	都市整備課	8,288	見直し	拡 充
4	コミュニティガーデン整備事業	都市整備課	97	見直し	拡 充
5	林業振興一般管理事務	農林整備課	968	見直し	拡 充
6	防風林維持管理事業	農林整備課	2,507	見直し	方法の工夫・改善
7	そらち森林組合補助事業	農林整備課	1,040	現状維持	法令等の定めあり
8	未来につなぐ森づくり推進事業	農林整備課	1,558	現状維持	現行の内容が最適
9	市有林保育管理事業	農林整備課	1,066	見直し	拡 充
10	分収造林受託事業	農林整備課	5,316	現状維持	法令等の定めあり

〈参考〉まちづくり成果指標・関連指標の取得方法

区分	整理 No	指 標	取 得 方 法	算 定 式 等
成果 指標	16	コミュニティガーデン数	業務取得	町内会等で維持管理する花壇の数
関連 指標	34	公園・緑地の利用率	まちづくり 市民アンケート	市内の公園や緑地をどれくらい利用していますか。 1. よく利用する(週に数回程度) 2. ときどき利用する(月に数回程度) 3. たまに利用する(年に数回程度) 4. ほとんど利用しない 1~3の回答者数/全回答者数
	35	森林面積	業務取得	市内の国有林・道有林・市有林・民有林面積の合計

びばい未来交響プラン施策評価表

評価対象期間

平成26年度末

【第6期総合計画「びばい未来交響プラン」の施策体系】

6つの柱	4 誰もが健康でいきいきと暮らせるまちづくり
施策の柱	[6] 健康づくり
施策	(17) 保健

【主管課及び関係課】

主管課：健康推進課

関係課：市民課

【施策の目指すべき姿】

◎市民主体の健康づくりが行われている

市民一人ひとりが心身の状態に合わせて、安心してこころ豊かな生活を送ることができるよう、健康を意識した生活習慣が身につく。また、地域全体による積極的な健康づくりが行われるなど、市民が主役となって、健康の意識を高めあえる健康なまちになっていく。

【目指すべき姿に到達するための施策の方向性】

1 ライフステージに応じた健康づくり

ライフステージに応じた健康な生活を送ることができるよう、各ライフステージに生じやすい健康や生活の潜在化している問題を把握し、問題を解決していくために、健診や家庭訪問・健康相談を総合的に行い、きめ細かな支援を行う。また、市民が自らの健康に関心を持ち、良好な食生活や運動習慣を身に付け、休息やストレスとも上手に付き合い、一人ひとりの健康や生活の状況に応じたところと身体を健康づくりを進めることができるよう、必要な情報を提供するとともに、喫煙や受動喫煙の害から市民の健康と生活を守るための環境づくりすすめていく。

2 地域主体の健康づくり

小学校区単位で取り組んできた健康づくり組織等との協働による活動を広く周知しながら、地域ごとの課題に応じた食や運動、こころの健康づくりなどの取組を通じて、一人ひとりの健康づくりに結びつけるとともに、地域の継続的で広がりのある活動にしていく。

【まちづくり成果指標・関連指標】 施策の目指すべき姿や方向性を数値目標で表したもの

区分	整理 No	指 標	指 標 の 説 明	目標値	実績値				達成度 (進捗度)
				H27	H24	H25	H26		
成果 指標	17	自分が健康だと思う市民の割合	健康づくりの取組により自分が健康だと思う市民がどの程度いるのかを見る指標	80.0%	66.0%	64.8%	69.2%	86.5%	
関連 指標	36	地域主体で健康づくりが推進されている小学校区数	健康づくりを支えるための環境を地域主体で実践活動が行われている小学校区数で見る指標	目標値は設定しません	6校区	4校区	4校区		
	37	健康づくりを行っている市民の割合	健康への関心が高まり、健康づくりを実践している市民の割合を見る指標	75.0%	66.3%	62.6%	64.6%	86.1%	
	38	1年間で健診を受診した市民の割合	健康管理に対する意識の高まりを定期的に健診を受けている市民の割合から見る指標	70.0%	67.9%	72.7%	68.4%	97.7%	

【施策の達成（進捗）状況】

妊娠・出産・子育て期には親子の健やかな成長への支援と学童思春期には食育、性教育、青壮年期には生活習慣病予防、メンタルヘルスに関する支援、高齢期の生活機能低下予防を実施。

びばいヘルシーライフ21(第2期)の重点テーマ「運動、喫煙・受動喫煙」について、すこやかウォーキング、びー助健康体操DVD作成、受動喫煙防止ガイドライン策定、健康教育など市民・地域・行政が一体となり取り組みを実施する他、小学校区の特性を活かした地域主体の健康づくり活動への支援を継続している。そのことにより、健診の受診や健康づくりの実践につながっている。

また、高齢化率が36.2%と高い美唄市において「自分は健康だと思う」主観的健康観が維持されている。課題としては、肺・すい臓がん、腎不全、自殺で亡くなる方が全国と比較し高い傾向にあることから、良好な生活習慣の獲得と改善、受動喫煙防止、各種健診の受診率向上を図るなど、市民の健康と生活を守るための対策に努める。

【 施策を構成する事務事業 】

	事 務 事 業 名	担当課	事業費(千円) (H26決算額)	事務事業評価	
				事務事業の今後の方向性	
1	保健衛生管理事務	健康推進課	1,730	見直し	方法の工夫・改善
2	保健センター管理運営事務	健康推進課	10,380	現状維持	現行の内容が最適
3	食の健康づくり事業	健康推進課	127	見直し	方法の工夫・改善
4	妊産婦健康増進事業	健康推進課	8,072	見直し	方法の工夫・改善
5	高齢者健康づくり事業	健康推進課	605	見直し	方法の工夫・改善
6	高齢者健康増進事業	健康推進課	523	見直し	方法の工夫・改善
7	健康づくり啓発事業	健康推進課	139	見直し	方法の工夫・改善
8	健康づくり組織活動推進事業	健康推進課	1,935	見直し	方法の工夫・改善
9	中高年健康づくり事業	健康推進課	424	見直し	方法の工夫・改善
10	中高年疾病予防事業	健康推進課	17,331	見直し	拡 充
11	機能回復訓練事業	健康推進課	54	見直し	方法の工夫・改善
12	エキノコックス症予防事業	健康推進課	134	見直し	方法の工夫・改善
13	定期予防接種事業	健康推進課	22,150	見直し	方法の工夫・改善
14	インフルエンザ対策事業	健康推進課	6,158	終 了	休 止
15	ひとり親家庭等医療費助成事業	市民課	13,907	現状維持	現行の内容が最適
16	重度心身障がい者医療費助成事業	市民課	85,537	現状維持	現行の内容が最適
17	国民健康保険事業	市民課	3,697,202	見直し	方法の工夫・改善
18	保育所フッ化物洗口推進事業	こども未来課	56	現状維持	現行の内容が最適
19	幼小フッ化物洗口推進事業	学務課	213	現状維持	現行の内容が最適
20	保健センター整備事業	健康推進課	1618	見直し	縮小

〈参考〉まちづくり成果指標・関連指標の取得方法

区分	整理 No	指 標	取 得 方 法	算 定 式 等
成果 指標	17	自分が健康だと思う市民 の割合	まちづくり 市民アンケート	自分が健康だと思いますか。 1. 健康だと思う 2. どちらかといえば健康だと思う 3. どちらか といえば健康ではないと思う 4. 健康ではないと思う 1・2の回答者数/全回答者数
関連 指標	36	地域主体で健康づくりが 推進されている小学校区 数	業務取得	地域主体で健康づくりが推進されている小学校区の数
	37	健康づくりを行っている 市民の割合	まちづくり 市民アンケート	健康づくりのために取り組んでいることはありますか。 1. 睡眠で十分な休養をとる 2. たばこを吸わない 3. たばこの煙 の影響を受けないようにする 4. 適正な体重を維持する 5. 適量 を守って飲酒する 6. 週2回は自分なりに心地よくからだを動かす 7. 栄養のバランスを考えた食事をする 8. 塩分をひかえる 9. ス トレスと上手に付き合うようにする 10. 年1回歯科検診を受ける 11. その他() 12. 特に取り組んでいない 1から11のうち、3つ以上取り組んでいる回答者数/全回答者数
	38	1年間で健診を受診した 市民の割合	まちづくり 市民アンケート	この1年間に健康診断を受けましたか。 1. 職場主催の健康診断を受診 2. 農協組合員向けの人間ドックを 受診 3. 市(保健センター)主催の健康診断を受診 4. 個人で医療 機関に行き健康診断を受診 5. その他() 6. 健康診断は受け ていない 1～5の回答者数/全回答者数

びばい未来交響プラン施策評価表

評価対象期間

平成26年度末

【 第6期総合計画「びばい未来交響プラン」の施策体系 】

6つの柱	4 誰もが健康でいきいきと暮らせるまちづくり
施策の柱	[6] 健康づくり
施策	(18) 地域医療

【 主管課及び関係課 】

主管課：地域医療担当

関係課：健康推進課・市立美唄病院

【 施策の目指すべき姿 】

◎安心して医療を受けられる体制ができている

医師の確保や救急搬送、救急医療体制の維持、市内医療機関との連携により、市民が安心して必要な医療サービスを受けられる地域医療体制ができている。

【 目指すべき姿に到達するための施策の方向性 】

1 市内の医療体制

市民が安心して医療サービスを受けられるよう、市立美唄病院と市内医療機関との相互連携のもと、1～1.5次医療の提供を行うとともに、2次医療圏における拠点病院との連携を図りながら、高度で専門的な医療を受けられるよう、市内医療体制を整備する。

2 市立美唄病院

市民の健康を守り、信頼される病院として、地域の中核病院の役割を担うため、内科医をはじめとする医師の確保を図り、安定的な医療体制の構築と経営健全化の推進に努める。

救急医療については、引き続き、医師会と緊密な連携を図り、市内で唯一の救急告示病院として救急医療を担っていく。また、市内他医療機関の動向を見極めつつ、市立病院の事業規模や経営形態等について、引き続き検討していく。

【 まちづくり成果指標・関連指標 】 施策の目指すべき姿や方向性を数値目標で表したもの

区分	整理No	指標	指標の説明	目標値	実績値			達成度 (進捗度)
				H27	H24	H25	H26	
成果指標	18	人口10万人当たり医師数	市内の医師数を他市町村と比較するため、人口10万人当りに換算した指標	推移を見る指標なので目標値は設定しません	(H22) 176.7人	(H24) 169.8人	169.8人	
関連指標	39	人口10万人当たり病床数	市内の病床数を他市町村と比較するため、人口10万人当りに換算した指標	推移を見る指標なので目標値は設定しません	(H22) 2,577.4床	(H24) 1,766.4床	1,805.0床	
	40	市立美唄病院病床利用率	市立美唄病院の病床の稼働率を見る指標	76.6%	68.9%	70.3%	71.6%	△5.0 ポイント
	41	市立美唄病院経常収支比率	市立美唄病院の経常収益と経常費用を対比した指標	107.1%	101.7%	97.5%	106.2%	△0.9 ポイント

【 施策の達成（進捗）状況 】

地域医療については、24.3に市内の医療機関の代表者で構成する「地域医療体制の在り方検討委員会」でまとめた今後の地域医療提供体制の方向性を踏まえ、H25.3に医療をはじめ保健、福祉、介護との連携を進めていくうえで指針となる「地域医療提供体制ビジョン」を策定。

H26.3には、本ビジョンを踏まえ、本市の地域医療を再構築するための行動計画として、「地域医療再構築プラン」を策定。

その後は、本プランに基づき、保健・福祉・介護との包括的な連携システムの構築に向けた取り組みとして「美唄市在宅医療・介護多職種ネットワーク会議」を設立するとともに、総合的な保健福祉施設及び市立美唄病院の整備に向けた検討委員会を設置し協議を開始。

今後においても、本プランに基づき、市民が住み慣れた地域で安心して生活できるよう、少子高齢社会に対応した保健・福祉・介護との包括的な連携システムの構築に向けた取り組みを進めるとともに、北海道が策定する地域医療構想との整合性を図りながら、医療と保健福祉の総合的な施設整備に向けた取り組みを進めていく。また、救急医療については、地元医師会や近隣中核病院と緊密な連携を図り、救急搬送や救急医療体制を確保していく。

市立病院については、経営の改善化を図るため「市立美唄病院改革プラン」及び「市立美唄病院経営健全化計画」を推進するとともに、医師会等の協力を得て救急医療体制の維持存続に努めた。

また、医療機器の更新などその整備を行ったほか、医師を確保することにより診療体制の維持に努めた。

【 施策を構成する事務事業 】

	事 務 事 業 名	担当課	事業費(千円) (H26決算額)	事務事業評価	
				事務事業の今後の方向性	
1	地域医療確立対策事業	地域医療担当	1,516	現状維持	現行の内容が最適
2	救急医療啓発普及事業	健康推進課	4,531	現状維持	現行の内容が最適
3	市立美唄病院事業	市立美唄病院	1,532,394	見直し	方法の工夫・改善

〈参考〉まちづくり成果指標・関連指標の取得方法

区分	整理 No	指 標	取 得 方 法	算 定 式 等
成果 指標	18	人口10万人当たり医師数	北海道保健 統計年報	北海道保健統計年報の数値 ※統計調査は2年に1度実施され、集計結果は調査実施年の2年後に 公表される (調査実施年：H22、H24、H26 数値公表年：H24、H26、H28)
関連 指標	39	人口10万人当たり病床数	北海道保健 統計年報	北海道保健統計年報の数値 ※統計調査は2年に1度実施され、集計結果は調査実施年の2年後に 公表される (調査実施年：H22、H24、H26 数値公表年：H24、H26、H28)
	40	市立美唄病院病床利用率	業務取得	年間延べ入院患者数／年間延べ病床数
	41	市立美唄病院経常収支比率	業務取得	経常収益／経常費用

びばい未来交響プラン施策評価表

評価対象期間

平成26年度末

【第6期総合計画「びばい未来交響プラン」の施策体系】

6つの柱	4 誰もが健康でいきいきと暮らせるまちづくり
施策の柱	[7] 福祉のまちづくり
施策	(19) 障がい者福祉

【主管課及び関係課】

主管課：地域福祉課

【施策の目指すべき姿】

◎障がい者が暮らしやすい環境になっている

障がい者の方が住み慣れた地域で、安心して暮らしていくために必要なサービスや支援が提供される環境が整うなど、心のバリアフリーを含めたノーマライゼーション社会ができている。

【目指すべき姿に到達するための施策の方向性】

1 障がい者福祉サービス

障がいの有無にかかわらず、誰もがお互いの人格と個性を尊重し、ささえあうノーマライゼーション社会の実現を目指し、障がい者が暮らしやすい環境づくりに向けて、日常生活用具等の給付をはじめ、手話通訳者の派遣や福祉タクシーの助成による移動の支援など、各種自立支援策を推進する。

2 障がい者の地域での生活

総合的な相談体制を充実させるとともに、グループホームなど地域での生活を支援し、ハローワークや企業との連携を強化して就労機会の確保に努める。

【まちづくり成果指標・関連指標】 施策の目指すべき姿や方向性を数値目標で表したもの

区分	整理No	指標	指標の説明	目標値	実績値			達成度 (進捗度)
				H27	H24	H25	H26	
成果指標	19	地域で生活できている障がい者の割合	障がい者の自立に向けた取組の成果を地域で生活できている障がい者の割合で見る指標	96.5%	96.2%	96.2%	96.2%	99.7%
関連指標	42	在宅福祉サービスの満足度	在宅福祉サービスの充足度を対象者のサービス満足度から見る指標 ※3年毎の認定更新時(H24、H27)にアンケート調査実施	80.0%	90.0%			—
	43	入所待機障がい者数	施設サービスの充足度を入所待機者数から見る指標	0人	4人	4人	4人	4人超過
	44	就労に関する障がい者相談年間件数(うち就労件数)	障がい者の自立状況を障がい者相談支援事業での就労に関する相談件数とそのうち実際に就労に結びついた件数から見る指標	H20より増やす 相談件数 17件 (うち就労件数 0件)	相談件数 8件 うち就労件数 6件	相談件数 8件 うち就労件数 1件	相談件数 4件 うち就労件数 2件	相談件数 △ 13件 うち就労件数 +2件

【 施策の達成（進捗）状況 】

住み慣れた地域で、安心して暮らしていくために必要なサービスや支援を提供し、障がい者が暮らしやすい環境づくりを充実するため、「美唄市福祉有償運送運営協議会」を平成23年度に設立し、福祉有償運送を開始したほか、美唄市障がい者プラン(第4期計画)を平成27年3月に策定し、障がい福祉サービス事業の継続性の担保と、計画に沿った各種支援・給付事業等の充実に努めている。

成果指標については、今後とも継続して各種取組の充実により進捗度を高めていく。

地域で生活できている障がい者の割合については、障がい者の高齢化等による重度化により、施設入所が必要となる方も増えてきているため、現状維持が続くものとみられる。

また、入所待機障がい者数については、本人の病気の回復や施設の入所定員などもあり、市の施策推進だけでは難しい内容ではあるが、関係機関等との連携を進めていく。

障がい者の就労支援については、平成25年4月1日に施行された国等による障害者就労施設等からの物品等の調達の推進等に関する法律(障害者優先調達推進法)の規定に基づき、本市においても調達方針を定め、毎年HPで公表している。就労に関する障がい者相談年間件数については、相談支援事業による把握では、相談延件数は54件となっており、うち就労中の方からの相談は、7人から延43件の職場の悩み等の相談があった。未就労者からの相談は10件、実相談人員は4人、そのうち福祉的就労に2人が結びついたが、1人は継続ならず、ハローワークや企業と連携を取りながら就労機会の確保と継続就労に努めていく。

【 施策を構成する事務事業 】

	事 務 事 業 名	担当課	事業費(千円) (H26決算額)	事務事業評価	
				事務事業の今後の方向性	
1	手話通訳者設置・派遣事業	地域福祉課	3,950	現状維持	現行の内容が最適
2	障がい者スポーツ大会参加補助事業	地域福祉課	274	現状維持	現行の内容が最適
3	障がい者居宅介護等事業	地域福祉課	22,838	現状維持	法令等の定めあり
4	障がい者在宅支援事業	地域福祉課	1,105	現状維持	現行の内容が最適
5	障がい者在宅福祉一般管理事務	地域福祉課	1,749	現状維持	現行の内容が最適
6	障がい者相談支援事業	地域福祉課	14,964	現状維持	現行の内容が最適
7	障がい者福祉一般管理事務	地域福祉課	410	現状維持	現行の内容が最適
8	障がい者グループホーム等支援事業	地域福祉課	126,936	現状維持	法令等の定めあり
9	障がい者移動支援等事業	地域福祉課	2,899	現状維持	法令等の定めあり
10	特別障がい者手当等支給事業	地域福祉課	8,419	現状維持	法令等の定めあり
11	日常生活用具等給付事業	地域福祉課	8,967	現状維持	法令等の定めあり
12	補装具給付事業	地域福祉課	7,974	現状維持	現行の内容が最適
13	特定疾患患者等支援事業	地域福祉課	300	現状維持	現行の内容が最適
14	更生医療給付事業	地域福祉課	24,974	現状維持	法令等の定めあり
15	精神障がい者地域生活支援事業	地域福祉課	576	現状維持	現行の内容が最適
16	恵愛団地集会所管理運営事業	地域福祉課	149	現状維持	現行の内容が最適
17	施設利用支援事業	地域福祉課	599,091	現状維持	法令等の定めあり

〈参考〉まちづくり成果指標・関連指標の取得方法

区分	整理 No	指 標	取 得 方 法	算 定 式 等
成果 指標	19	地域で生活できている障がい者の割合	業務取得	(市内障がい者数－施設入所者数－長期入院者数)／市内障がい者数
関連 指標	42	在宅福祉サービスの満足度	担当課 アンケート	在宅福祉サービスに満足している障がい者数／在宅福祉サービスを受けている障がい者数 ※アンケート調査は3年毎の認定更新時(H24、H27)に実施
	43	入所待機障がい者数	業務取得	入所待機障がい者数
	44	就労に関する障がい者相談年間件数(うち就労件数)	業務取得	障がい者相談支援事業における就労に関する相談年間件数 (実際に就労に結びついた件数)

びばい未来交響プラン施策評価表

評価対象期間

平成26年度末

【 第6期総合計画「びばい未来交響プラン」の施策体系 】

6つの柱	4 誰もが健康でいきいきと暮らせるまちづくり
施策の柱	[7] 福祉のまちづくり
施策	(20) 高齢者福祉

【 主管課及び関係課 】

主管課：高齢福祉課

関係課：恵風園・恵祥園

【 施策の目指すべき姿 】

◎高齢者が安心して生活できる

高齢者が住みなれた地域でいつまでも健康で安心して生活でき、介護が必要になってもその人に合ったサービスを利用して、自分らしく生活できる環境ができる。

【 目指すべき姿に到達するための施策の方向性 】

1 高齢者の総合的な生活支援

高齢者が健康でいきいきと生活できるよう、元気なうちから介護予防に取り組み、健康で自立した生活が続けられるよう支援する。

また、支援や介護が必要な状態になっても地域で安心して暮らし続けられるよう、各種サービスの充実を図るとともに、地域包括支援センターを中心に地域全体で支える包括ケア体制を継続する。

2 生きがいづくり

豊富な経験と知識を持つ高齢者が地域づくりに主体的に取り組むなど、積極的に社会参加できる環境づくりやシルバー人材センター等での就労の確保に努めるとともに、世代間交流をはじめ、生涯学習や生涯スポーツなど、多様な社会活動参加を促進する。

3 社会保障制度の運用

介護保険制度など、各種の社会保障制度については、利用者が安心できる的確な運用を進める。

【 まちづくり成果指標・関連指標 】 施策の目指すべき姿や方向性を数値目標で表したもの

区分	整理 No	指 標	指 標 の 説 明	目標値	実績値			達成度 (進捗度)
				H27	H24	H25	H26	
成果指標	20	自立高齢者数	保健や介護予防の取組により要介護者がどの程度抑えられているかを見る指標	85.0%	81.1%	81.3%	81.1%	95.4%
関連指標	45	生きがいを持っている高齢者の割合	自立と生きがいづくりを進めることにより、どの程度の高齢者が生きがいをもって暮らしているかを見る指標	75.0%	77.3%	75.2%	72.5%	96.7%
	46	シルバー人材センター登録者数	高齢者の社会参加の状況をシルバー人材センター登録者数から見る指標	260人	217人	216人	225人	86.5%

【 施策の達成（進捗）状況 】

介護予防に関する出前講座や貯筋体操自主グループの支援、口腔機能教室など高齢者が健康で自立した生活が続けられる取組を実施したほか、在宅生活を支えるため、地域包括支援センターを核とした総合相談・支援、虐待防止、権利擁護など様々な相談や助言を行った。

さらに、要介護認定者への対応として、地域密着型介護老人福祉施設（地域密着型特養29床）を新設し、待機者の軽減を図った。

また、豊富な経験と知識を持った高齢者がシルバー人材センターに登録し、積極的な就労により社会参加を図るほか、老人クラブにおいてボランティア活動や健康づくり等を行うことにより、より良い老後が遅れるよう活動促進を行った。今後においても高齢者が生きがいを持って社会参加ができる環境づくりの支援を行っていく。

介護保険、国民健康保険、後期高齢者医療保険各会計の決算状況をまとめ、市内数か所に配置し周知した。今後も利用者が安心できる制度運用に努めていく。

【 施策を構成する事務事業 】

	事 務 事 業 名	担当課	事業費(千円) (H26決算額)	事務事業評価	
				事務事業の今後の方向性	
1	食事サービス事業(介護予防事業分)	高齢福祉課	4,377	現状維持	法令等の定めあり
2	二次予防事業	高齢福祉課	28,790	現状維持	法令等の定めあり
3	一次予防事業	高齢福祉課	3,225	現状維持	法令等の定めあり
4	生活支援短期宿泊事業	高齢福祉課	392	現状維持	法令等の定めあり
5	介護予防マネジメント事業	高齢福祉課	21,311	現状維持	法令等の定めあり
6	食事サービス事業(任意事業分)	高齢福祉課	14,966	現状維持	法令等の定めあり
7	高齢者世話付住宅生活援助員派遣事業	高齢福祉課	4,865	現状維持	法令等の定めあり
8	家族介護用品支給事業	高齢福祉課	361	現状維持	法令等の定めあり
9	家族介護者交流事業	高齢福祉課	282	現状維持	法令等の定めあり
10	認知症高齢者やすらぎ支援訪問員派遣事業	高齢福祉課	200	現状維持	法令等の定めあり
11	老人福祉施設入所措置事業	高齢福祉課	118,706	現状維持	現行の内容が最適
12	老人クラブ連合会運営補助事業	高齢福祉課	1,500	現状維持	現行の内容が最適
13	単位老人クラブ運営費等補助事業	高齢福祉課	1,404	現状維持	現行の内容が最適
14	福祉スポーツ大会事業	高齢福祉課	632	現状維持	現行の内容が最適
15	外国人高齢者福祉給付金支給事業	高齢福祉課	530	現状維持	法令等の定めあり
16	老人福祉一般管理事務	高齢福祉課	579	現状維持	現行の内容が最適
17	緊急通報システム管理運営事業	高齢福祉課	1,196	現状維持	現行の内容が最適
18	福祉除雪事業	高齢福祉課	168	現状維持	現行の内容が最適
19	間口除雪事業	高齢福祉課	9,448	見直し	拡 充
20	福祉灯油事業	高齢福祉課	1,388	現状維持	現行の内容が最適
21	移送サービス事業	高齢福祉課	1,187	現状維持	現行の内容が最適
22	地域包括支援センター運営事業	高齢福祉課	11,311	現状維持	現行の内容が最適
23	社会福祉法人等利用者負担軽減事業	高齢福祉課	508	現状維持	法令等の定めあり
24	介護給付適正化事業	高齢福祉課	281	現状維持	法令等の定めあり
25	介護保険給付事業	高齢福祉課	2,459,613	現状維持	法令等の定めあり
26	介護保険事業	高齢福祉課	65,543	現状維持	法令等の定めあり

	事 務 事 業 名	担当課	事業費(千円) (H26決算額)	事務事業評価	
				事務事業の今後の方向性	
27	介護サービス事業	恵祥園	213,231	見直し	方法の工夫・改善
28	恵風園生活事務	恵風園	53,958	見直し	方法の工夫・改善
29	恵風園管理事務	恵風園	24,369	見直し	方法の工夫・改善
32	応急生活資金貸付事業	地域福祉課	3,000	現状維持	現行の内容が最適
33	社会福祉一般管理事務	地域福祉課	172	現状維持	現行の内容が最適
34	後期高齢者医療事業	市民課	739,961	現状維持	法令等の定めあり
35	生活保護事務	地域福祉課	15,392	現状維持	現行の内容が最適
36	生活保護扶助事業	地域福祉課	1,230,671	現状維持	法令等の定めあり
37	市民後見人等養成・活用事業	高齢福祉課	1,250	現状維持	法令等の定めあり
38	地域包括支援システム改修事業	高齢福祉課	1,386	現状維持	現行の内容が最適
39	臨時福祉給付金事業	地域福祉課	92,564	現状維持	法令等の定めあり

〈参考〉まちづくり成果指標・関連指標の取得方法

区分	整理 No	指 標	取 得 方 法	算 定 式 等
成果 指標	20	自立高齢者数	業務取得	65歳以上の市民のうち要支援・要介護認定を受けていない市民の割合
関連 指標	45	生きがいを持っている高齢者の割合	まちづくり 市民アンケート	いま生きがいをもって暮らしていますか。 1. はい 2. いいえ 65歳以上の1の回答者数／65歳以上の回答者数
	46	シルバー人材センター登録者数	業務取得	シルバー人材センターに登録している高齢者の人数

白紙ページ

びばい未来交響プラン施策評価表

評価対象期間

平成26年度末

【 第6期総合計画「びばい未来交響プラン」の施策体系 】

6つの柱	5 安全で安心して住めるまちづくり
施策の柱	[8] 安全づくり
施 策	(21) 防災・防犯・交通安全

【 主管課及び関係課 】

主管課：危機管理対策室

関係課：生活環境課

【 施策の目指すべき姿 】

◎災害などの被害を最小限にする体制ができている

地域が一体となって、防災活動や防犯活動、交通安全活動を行うことで、安全で安心な地域が実現している。

【 目指すべき姿に到達するための施策の方向性 】

1 防災

総合的な防災体制の強化や耐震化への対応とともに、自主防災組織の組織化を進め、防災訓練の実施や防災意識の向上により、災害に強い安全で安心な地域づくりを進める。

2 防犯

地域の防犯力を高める上で大きな役割を果たす自主防犯組織の設立を進め、防犯パトロールを地域的に広げ、犯罪者等が近寄らないまちづくりを進める。

3 交通安全

幼稚園児、小学校低学年等を対象とした青空教室や、小学校中学年を対象とした交通公園等での自転車教室、老人クラブ等を対象とした高齢者交通安全教室開催を通じ、交通事故の被害者となりやすい各世代に対し、交通安全の重要性を伝えていく。

また、安全運転、シートベルトの着用、飲酒運転の追放などに関して、重点的な啓発活動を実施するとともに、警察署と連携した交通事故防止に関する情報提供を行う。

【 まちづくり成果指標・関連指標 】 施策の目指すべき姿や方向性を数値目標で表したもの

区分	整理No	指 標	指 標 の 説 明	目標値	実績値			達成度 (進捗度)
				H27	H24	H25	H26	
成果指標	21	自主防災組織率	自主的な防災活動の取組がどの程度広がっているか見る指標	25.0%	10.5%	14.0%	15.9%	63.6%
関連指標	47	自主防犯組織数	地域の防犯体制の状況を自主防犯組織(パトロール隊)が設立された件数で見る指標	22組織	18組織	18組織	18組織	81.8%
	48	年間刑法犯認知件数	市内の犯罪発生状況を見る指標	H20より減らす 202件	127件	148件	134件	△ 68件
	49	年間交通事故発生件数	交通安全の取組の成果を交通事故発生件数で見る指標	0件	55件	31件	31件	31件 超過

【 施策の達成（進捗）状況 】

防災については、地域防災計画に基づく防災訓練の実施や自主防災組織の設立促進に努めた。また、自主防災組織や市内小学校などで防災講座を開催するなど、防災教育の実施により防災意識の向上を図った。

引き続き、非常用食糧品や災害備蓄用毛布、発電機、ストーブなどの災害用備蓄品等の整備を計画的に進めるとともに、自主防災組織の防災訓練に対する支援などを通じて、自主防災組織の組織化を推進し、災害に強い安全で安心な地域づくりを進めていく。

防犯については、年間刑法犯罪認知件数は平成20年度より減少し、昨年よりも減少傾向となっているが、昨今の巧妙化する犯罪に対し、警察署や防犯協会等関係団体と連携をとりながら、街頭啓発や地域安全大会を実施し、犯罪に対する知識の普及啓発を図っていく。

交通安全については、平成26年度においても前年度と同数の発生件数31件、うち死亡事故1件となってしまった、今後においても警察署や交通安全協会等と協力して街頭啓発を行うとともに、幼児や児童、高齢者等の交通事故の被害者となりやすい世代を中心に交通安全教室を実施し、交通事故の未然防止に努める。

【 施策を構成する事務事業 】

	事 務 事 業 名	担当課	事業費(千円) (H26決算額)	事務事業評価	
				事務事業の今後の方向性	
1	地域防災事業	危機管理対策室	6,969	現状維持	現行の内容が最適
2	地域安全活動補助事業	生活環境課	375	現状維持	現行の内容が最適
3	交通安全3ゼロ運動推進補助事業	生活環境課	918	現状維持	現行の内容が最適
4	交通安全対策事業	生活環境課	1,307	現状維持	現行の内容が最適
5	市民生活支援事務	生活環境課	695	現状維持	現行の内容が最適
6	遺家族等援護事務	生活環境課	258	現状維持	現行の内容が最適
7	防災資機材等整備事業	危機管理対策室	2,595	現状維持	現行の内容が最適

〈参考〉まちづくり成果指標・関連指標の取得方法

区分	整理 No	指 標	取 得 方 法	算 定 式 等
成果 指標	21	自主防災組織率	業務取得	自主防災組織加入世帯数／全世帯数
関連 指標	47	自主防犯組織数	業務取得	自主防犯組織数
	48	年間刑法犯認知件数	業務取得	美唄警察署公表の刑法犯認知件数
	49	年間交通事故発生件数	業務取得	美唄警察署公表の人身交通事故発生件数

びばい未来交響プラン施策評価表

評価対象期間

平成26年度末

【 第6期総合計画「びばい未来交響プラン」の施策体系 】

6つの柱	5 安全で安心して住めるまちづくり
施策の柱	[8] 安全づくり
施策	(22) 消防

【 主管課及び関係課 】

主管課：消防本部

【 施策の目指すべき姿 】

◎市民の安全・安心を守る消防体制ができています

消防体制が維持され、火災予防の意識が普及し、救命処置を行う体制ができています。

【 目指すべき姿に到達するための施策の方向性 】

1 火災予防

火災を防ぎ、火災による被害を軽減するため、幼年消防クラブや婦人防火クラブをはじめ、事業所や一般家庭などに対する広報や啓発活動などを行い、火災予防意識の向上に取り組む。

2 救急業務

救急隊員の資質・技術の向上を図るとともに、医療機関との連携を強化し、迅速な救急搬送ができる体制づくりを進める。

また、AED(自動体外式除細動器)の操作など、市民への応急手当の知識・技術の普及を図り、市民との協働により救命効果を上げる取組を進める。

3 消防組織と装備

消防団員の確保、消防施設及び車両や消火栓の整備、消防通信指令施設の更新を行うとともに、消防救急無線のデジタル化への対応、消防の広域化への対応などを検討していく。

【 まちづくり成果指標・関連指標 】 施策の目指すべき姿や方向性を数値目標で表したもの

区分	整理 No	指 標	指 標 の 説 明	目標値	実績値			達成度 (進捗度)
				H27	H24	H25	H26	
成果指標	22	年間出火率	火災予防の取組によりどの程度火災の発生が抑えられているかを見る指標	6.4%	6.0%	3.3%	6.3%	△0.1 ポイント 負数は目標値達成
関連指標	50	住宅用火災警報器設置率	家庭での火災防止の対応状況を設置義務がある住宅用火災警報器の設置率で見る指標	100.0%	76.3%	86.8%	88.0%	88.0%

【 施策の達成（進捗）状況 】

火災予防については、春秋の火災予防運動を中心に住宅用火災警報器の設置促進を行った。今後も事業所や一般家庭などに対する広報や啓発活動を実施し更なる設置率普及啓発に努める。

救急業務については、高度化への対応や救命率向上の向上を図るため、救急救命士の再教育並びに医療機関との連携強化を推進するとともに、市民への応急手当の知識・技術の普及促進のため救急講習会の開催に努める。

消防装備については、通信指令施設の更新を行い119番通報地点がいち早く確認することができる、位置情報通知システムを新たに導入したほか、消火栓を更新し消防水利の充実に努めた。今後は消防救急デジタル無線の整備を実施し、また、消防の広域化への対応について検討していく。

【 施策を構成する事務事業 】

	事 務 事 業 名	担当課	事業費(千円) (H26決算額)	事務事業評価	
				事務事業の今後の方向性	
1	救急業務推進事業	消防本部	3,208	現状維持	現行の内容が最適
2	消防救急無線デジタル化整備事業	消防本部	7,344	現状維持	法令等の定めあり
3	消防施設管理事業	消防本部	5,834	現状維持	現行の内容が最適
4	消防車両管理事業	消防本部	5,589	現状維持	現行の内容が最適
5	消防水利管理事業	消防本部	3,405	現状維持	現行の内容が最適
6	消防水利整備事業	消防本部	4,751	現状維持	現行の内容が最適
7	消防施設整備事業	消防本部	6,243	現状維持	現行の内容が最適
8	常備消防事業	消防本部	19,716	現状維持	現行の内容が最適
9	消防団運営事業	消防本部	34,209	見直し	方法の工夫・改善
10	火災予防推進事業	消防本部	541	見直し	方法の工夫・改善

〈参考〉まちづくり成果指標・関連指標の取得方法

区分	整理 No	指 標	取 得 方 法	算 定 式 等
成果 指標	22	年間出火率	業務取得	人口1万人当たり火災件数 (年間出火件数／総人口×1万人)
関連 指標	50	住宅用火災警報器設置率	業務取得	住宅用火災警報器設置率

びばい未来交響プラン施策評価表

評価対象期間

平成26年度末

【 第6期総合計画「びばい未来交響プラン」の施策体系 】

6つの柱	5 安全で安心して住めるまちづくり
施策の柱	[9] 安心づくり
施 策	(23) 消費者保護

【 主管課及び関係課 】

主管課：生活環境課

【 施策の目指すべき姿 】

◎消費者被害を未然に防ぐための体制が整っている

消費者被害を未然に防ぎ、安心して消費者生活を送ることができるよう、必要な消費者情報を提供し、相談に適切に対応することができる体制が整っている。

【 目指すべき姿に到達するための施策の方向性 】

1 消費者保護体制の充実

複雑・多様化する市民からの相談に対して、幅広い情報の収集や専門的知識に基づく情報の提供と適切な解決策の提示を行うことができるよう、各種研修への相談員の派遣により、相談員のスキルアップを図るとともに、関係機関と協力して対応し、迅速な解決を図る。

また、消費生活センター(美唄消費者協会)を中心に、地域の安全・安心を守る様々な団体等と連携を図り、消費者の被害防止のためのネットワークづくりを進める。

2 消費者情報提供の充実

全ての市民が安全な消費生活を送れるよう、市広報紙やホームページ等を通じてタイムリーな消費者情報を提供する。

また、整備が進められている全国消費生活情報ネットワーク・システムの活用により、全国の消費者相談事例を参照し、より適切な対応や助言ができる体制を整える。

【 まちづくり成果指標・関連指標 】 施策の目指すべき姿や方向性を数値目標で表したもの

区分	整理 No	指 標	指 標 の 説 明	目標値	実績値			達成度 (進捗度)
				H27	H24	H25	H26	
成果 指標	23	消費者相談窓口を知っている市民の割合	消費者被害を未然に防止するために、市内の相談窓口(美唄消費者協会)をどの程度市民が知っているかを見る指標	60.0%	48.6%	48.2%	46.3%	77.2%
関連 指標	51	年間消費者相談件数	消費者被害を未然に防止するための相談窓口をどの程度利用しているかを見る指標	100件	107件	82件	82件	
	52	消費者生活展参加者数	消費者保護や商品情報等に対する関心がどの程度あるかを消費者生活展の参加者数で見る指標	250人	160人	185人	170人	68.0%

【 施策の達成(進捗)状況 】

消費者相談については、美唄市消費生活センター(美唄消費者協会に業務委託)に相談が寄せられているが、件数については、昨年度と同様の82件となった。

件数は横ばいとなっているものの、年々巧妙化する手口により相談内容が複雑化してきており、消費生活センターの存在価値も高まってきている。

今後も、相談員のスキルアップを図るとともに、消費生活展やパネル展、講演会などを開催、ホームページや広報紙などを活用し、市民へ情報提供を行っていく。

【 施策を構成する事務事業 】

	事 務 事 業 名	担当課	事業費(千円) (H26決算額)	事務事業評価	
				事務事業の今後の方向性	
1	消費者保護対策事業	生活環境課	1,782	現状維持	現行の内容が最適
2	法律相談事務	生活環境課	868	現状維持	現行の内容が最適

〈参考〉まちづくり成果指標・関連指標の取得方法

区分	整理 No	指 標	取 得 方 法	算 定 式 等
成果 指標	23	消費者相談窓口を知っている市民の割合	まちづくり 市民アンケート	商品購入トラブルや訪問販売での困りごとなど、消費生活に関わる市内の相談窓口(美唄消費者協会)を知っていますか。 1. はい 2. いいえ 1の回答者数/全回答者数
関連 指標	51	年間消費者相談件数	業務取得	消費者相談件数
	52	消費者生活展参加者数	業務取得	消費者生活展参加者数

びばい未来交響プラン施策評価表

評価対象期間

平成26年度末

【 第6期総合計画「びばい未来交響プラン」の施策体系 】

6つの柱	5 安全で安心して住めるまちづくり
施策の柱	[9] 安心づくり
施策	(24) 雇用対策

【 主管課及び関係課 】

主管課：商工観光課

【 施策の目指すべき姿 】

◎安心して働ける職場環境がある

求職者一人ひとりが自分の特性と能力を活かして、就業でき、安心して働くことができる環境がつけられている。

【 目指すべき姿に到達するための施策の方向性 】

1 就業環境

雇用の場をつくり出す農商工連携などによる産業振興や新産業の創出を進めるとともに、国や道などによる雇用対策に関連した助成制度の活用促進を図る。

就職に必要な職業技術や知識、経験を養うための美唄人材開発センター等での講習受講への紹介や受講者への助成をするほか、市内企業等の協力のもとに、就業意識の醸成や求人企業と求職者のニーズのミスマッチの解消を図るため、説明会の開催やインターンシップを推進する。また、高齢者・障がい者雇用や仕事と家庭の両立支援など、企業が行う取組に関する国や道などの制度の周知・活用を図る。

2 働く環境

勤労者福祉を進めていくため、勤労者共済会への支援を行うとともに、労働相談の充実や技能講習等の受講者への助成を行う。

【 まちづくり成果指標・関連指標 】 施策の目指すべき姿や方向性を数値目標で表したもの

区分	整理No	指標	指標の説明	目標値	実績値			達成度 (進捗度)
				H27	H24	H25	H26	
成果指標	24	職業紹介者の就職率	求人情報提供や職業紹介の成果を見る指標	33.3%	32.6%	34.2%	36.1%	108.4%
関連指標	53	美唄市ふるさとハローワーク日平均利用者数	求職者が美唄市ふるさとハローワークの求人情報をどの程度利用しているのを見る指標	推移を見る指標なので目標値は設定しません	48人	38人	30人	△ 24人
	54	技能講習等受講者数	就業のための技能習得状況を市が指定する研修機関で受講した人数で見る指標	 H20より増やす 59人	36人	27人	35人	

【 施策の達成（進捗）状況 】

「ふるさとハローワーク」での職業紹介者の就職率は36.1%と上昇し、目標値を達成しているものの、依然として求人側と求職者の雇用のミスマッチは改善しておらず、引き続き求職者が就職に結びつくよう、美唄地域人材開発センターで実施する技能習得（玉掛、フォークリフト、溶接等）を通じて求職者のスキルアップを図るとともに、ハローワークなど関係機関と連携のもと、就職相談、求人情報の提供、国の雇用奨励制度などの活用をPRし雇用創出に努めていく。

また、若年者の就業支援や職場定着の促進を図るため、南空知地域雇用対策協議会（岩見沢市・美唄市・三笠市・月形町）が行う模擬面接等、各種就職セミナーなどを通じて、新規高校卒業者等の就職を促進していくとともに、美唄市季節労働者通年雇用促進協議会と連携し、季節労働者の通年雇用化を促進していくこととする。

勤労者にとって働きやすい環境を整えるため、勤労者の生活安定や福利厚生の充実を図るとともに、今後とも勤労者向けの融資制度や福祉共済の支援を継続するほか、職業能力開発講座や技能取得講座など、企業が行う人材育成・人材確保の取組を支援し、労働者の働く環境を整備していく必要がある。

【 施策を構成する事務事業 】

	事務事業名	担当課	事業費(千円) (H26決算額)	事務事業評価	
				事務事業の今後の方向性	
1	ふるさとハローワーク管理運営事業	商工観光課	2,519	現状維持	現行の内容が最適
2	地域人材開発センター運営事業	商工観光課	8,000	見直し	方法の工夫・改善
3	情報処理訓練校支援事業	産業振興課	162,000	終了	廃止
4	情報処理訓練校振興助成事業	産業振興課	323	終了	廃止
5	求職者等職業能力開発支援事業	商工観光課	701	見直し	方法の工夫・改善
6	季節労働者通年雇用促進支援事業	商工観光課	124	見直し	方法の工夫・改善
7	勤労者生活資金貸付事業	商工観光課	3,000	見直し	縮小
8	勤労者共済会補助事業	商工観光課	2,141	見直し	方法の工夫・改善
9	労働相談補助事業	商工観光課	75	現状維持	現行の内容が最適
10	シルバー人材センター補助事業	高齢福祉課	7,000	現状維持	法令等の定めあり
12	ちょっと暮らし受入促進事業	商工観光課	52	現状維持	現行の内容が最適
13	コールセンターオペレーター実践力養成事業	商工観光課	1,629	終了	事業完了
14	外国人観光客等受入対応スタッフ養成事業	商工観光課	2,716	終了	事業完了
15	コンシェルジュガイド等養成事業	商工観光課	5,188	終了	事業完了
16	環境に優しいフィルターリユース事業	産業振興課	10,541	終了	事業完了

〈参考〉まちづくり成果指標・関連指標の取得方法

区分	整理 No	指標	取得方法	算定式等
成果 指標	24	職業紹介者の就職率	業務取得	美唄市ふるさとハローワークで職業紹介を受けた人のうち、実際に就職に結びついた人の割合
関連 指標	53	美唄市ふるさとハローワーク日平均利用者数	業務取得	美唄市ふるさとハローワーク1日当たり利用者数
	54	技能講習等受講者数	業務取得	美唄人材開発センター、北海道中央コンピュータ・カレッジの技能講習を受講した人数

びばい未来交響プラン施策評価表

評価対象期間

平成26年度末

【 第6期総合計画「びばい未来交響プラン」の施策体系 】

6つの柱	5 安全で安心して住めるまちづくり
施策の柱	[9] 安心づくり
施策	(25) コミュニティ

【 主管課及び関係課 】

主管課：地域福祉課

関係課：企画課

【 施策の目指すべき姿 】

◎地域での活動が活性化する

相互にささえあいながら、活力ある地域づくりを自主的に行う活動が広がっている。

【 目指すべき姿に到達するための施策の方向性 】

1 地域福祉の推進

市の地域福祉計画と社会福祉協議会の地域福祉実践計画に基づき、市民ささえあい推進委員会と市民、市、社会福祉協議会が連携し、それぞれの役割の中で地域と関わりながら、地域の状況に応じた取組を進める。

2 地域の活力づくり

自主的な活動をしている町内会や団体を支援するため、福祉のまちづくり事業補助金を活用し、活力ある地域づくりを進める。

また、市職員で構成する地域応援チームにより、町内会等の自主的な取組に対して、情報提供や助言などにより応援を行うとともに、市広報紙等での紹介や地域間の連携、様々な団体とのネットワークづくり、地域の活力づくりを担う人材の育成に努める。

【 まちづくり成果指標・関連指標 】 施策の目指すべき姿や方向性を数値目標で表したもの

区分	整理No	指標	指標の説明	目標値	実績値			達成度 (進捗度)
				H27	H24	H25	H26	
成果指標	25	地域活動に参加している市民の割合	コミュニティ活性化の取組がどの程度地域活動につながっているかを見る指標	 H20より高める 56.8%	64.2%	65.2%	54.7%	△2.1 ポイント
関連指標	55	町内会活動を必要と感じる市民の割合	地域活動が必要であるという意識の醸成を見る指標	 H20より高める 63.1%	78.1%	77.4%	73.2%	+10.1 ポイント
	56	保健福祉活動を行っている地区数	地域福祉の充実度を自主的又は市と協働で保健福祉活動を行っている地区数から見る指標	 H20より増やす 28地区	49地区	55地区	46地区	+18地区

【 施策の達成（進捗）状況 】

相互にささえあいながら、活力ある地域づくりを自主的に行う活動を広げるため、市地域福祉計画及び社会福祉協議会の地域福祉実践計画にもとづき、地域住民やボランティア団体、社会福祉協議会等が連携し、福祉のまちづくり補助金の活用や、地域福祉会館の活動拠点とした地域住民のささえあい・絆づくり活動に取り組んでいる。成果指標2.1ポイント減少しているが、今後とも地域福祉推進大会開催や広報紙による啓発活動を進めていくほか、総合福祉センター、福祉会館整備による拠点施設の整備を図り、活動の場の環境改善に努め、社会福祉協議会との連携を図りながら地域住民の自主活動の活性化について支援していく。

地域応援チームの活動では、市の管理職員で構成する各地域の担当者が、町内会長等と連携を図り、ご自宅への訪問などを通して地域の事情や課題などを把握するとともに、市の情報提供や地域の活動などの情報を収集するなど、情報の共有を図るための活動を実施した。

【 施策を構成する事務事業 】

Index	事 務 事 業 名	担当課	事業費(千円) (H26決算額)	事務事業評価	
				事務事業の今後の方向性	
1	地域福祉ネットワーク事業	地域福祉課	131	現状維持	現行の内容が最適
2	地域福祉会館管理運営事業	地域福祉課	3,773	現状維持	現行の内容が最適
3	社会福祉協議会運営補助事業	地域福祉課	19,207	現状維持	現行の内容が最適
4	民生児童委員活動事業	地域福祉課	6,976	現状維持	現行の内容が最適
5	総合福祉センター管理運営事業	地域福祉課	7,521	現状維持	現行の内容が最適
6	総合福祉センター整備事業	地域福祉課	2,408	現状維持	現行の内容が最適

〈参考〉まちづくり成果指標・関連指標の取得方法

区分	整理 No	指 標	取 得 方 法	算 定 式 等
成果 指標	25	地域活動に参加している 市民の割合	まちづくり 市民アンケート	町内会・自治会の行事やあなたが暮らす地域の行事に参加していますか。 1. 参加している 2. ときどき参加している 3. 参加していない 1・2の回答者数／全回答者数
関連 指標	55	町内会活動を必要と感じ る市民の割合	まちづくり 市民アンケート	町内会や自治会の活動は必要だと思いますか。 1. 必要だと思う 2. 必要とは思わない 1の回答者数／全回答者数
	56	保健福祉活動を行っている 地区数	業務取得	市内各地域で保健福祉活動を自主的または市と協働で行っている 地区数 (地域ささえあい懇談会、子供懇談会、地域福祉推進大会、まちづ くり事業補助数、貯筋体操自主グループ数、びばいっ子フェス ティバル、地域主体健康づくり事業団体数など)

びばい未来交響プラン施策評価表

評価対象期間

平成26年度末

【 第6期総合計画「びばい未来交響プラン」の施策体系 】

6つの柱	6 みんなで力を合わせるまちづくり
施策の柱	[10] 地域経営の確立
施 策	(26) 協働のまちづくり

【 主管課及び関係課 】

主管課：企画課

関係課：生涯学習課

【 施策の目指すべき姿 】

◎たくさんの人たちがまちづくりに積極的に参画している
意欲的にまちづくりに関わる人たちが増えていく。

【 目指すべき姿に到達するための施策の方向性 】

1 協働のしくみづくり

本市に住み、働き、学び、訪れる人びとや企業、各種団体、地域社会、行政などの組織など、まちづくりの多様な主体として役割分担を行い、情報の共有化、意思の疎通を図るとともに、協働のまちづくりを支える人材の育成と地域力の向上に向けた取組を進めていく。

2 新しい公共の創造

市民と市とのパートナーシップを強化し、それぞれが持つ資源やノウハウを活用し、防災・防犯や高齢者の見守りなど、様々な活動を展開し、「新しい公共」を創造することにより、市民サービスの向上や新たな事業機会の創出、社会的課題の解決に取り組んでいく。

3 地域主権の土台づくり

地域主権に対応可能な足腰の強い市役所づくりを進めるため、効率的で機動的な組織や人材の育成、行財政基盤の強化に取り組んでいく。また、将来にわたって必要な市民サービスなどを安定的・継続的に提供し、地域の活性化を図る上で、広域的な連携を進めていく。

【 まちづくり成果指標・関連指標 】 施策の目指すべき姿や方向性を数値目標で表したもの

区分	整理 No	指 標	指 標 の 説 明	目標値	実績値			達成度 (進捗度)
				H27	H24	H25	H26	
成果 指標	26	まちづくり参画度	協働のまちづくりの成果として、市民がまちづくりにどの程度参画しているかを見る指標	20.0%	24.5%	24.8%	12.8%	64.0%
関連 指標	57	美唄サテライト・キャンパス「まちづくりを担う人材養成講座」受講者数	協働のまちづくりを進める際に必要な人材育成のための講座への参加者数により協働のまちづくりの浸透度を見る指標	50人	81人	69人	97人	194.0%

【 施策の達成（進捗）状況 】

協働のしくみづくりの成果を示す指標「まちづくり参画度」は、平成24年度、平成25年度については目標値を満たしていたが、今年度は下回っており、様々な主体が参加する協働のまちづくりがやや停滞傾向にあるものとする。

今後は、市政に関わる様々な情報をより積極的に発信して、市民との情報の共有を進めるとともに、地域応援チーム制度や美しきまちづくりサポーター制度などの取組を通じて、市民のまちづくりへの参画をさらに一層進めて行く。

協働のまちづくりを支える人材の育成については、市内の地域資源を活かしながら、札幌国際大学、札幌大学、札幌大谷大学等の協力をいただき、地元において専門教育や高等教育を受ける機会を提供することを目的として、平成24年度から実施している美唄サテライト・キャンパスにより人材の育成を図っていく。

市政を全市的な視点で総合的に推進するため、市長・副市長・教育長をはじめ各部長職を構成員とする美唄市経営会議を平成23年11月に設置した。毎月の経営会議において、市全体の様々な動きや市民要望などを把握し、各部局の情報の共有化を図り、地域の課題に迅速に対応できるよう努めている。

【 施策を構成する事務事業 】

	事務事業名	担当課	事業費(千円) (H26決算額)	事務事業評価	
				事務事業の今後の方向性	
1	情報公開・個人情報保護制度運営事務	企画課	26	現状維持	現行の内容が最適
2	広報事務	企画課	13,362	現状維持	現行の内容が最適
3	広聴事務	企画課	130	現状維持	現行の内容が最適
4	事務事業評価システム推進事業	企画課	200	見直し	方法の工夫・改善
5	企画一般事務	企画課	1,096	見直し	方法の工夫・改善

〈参考〉まちづくり成果指標・関連指標の取得方法

区分	整理 No	指標	取得方法	算定式等
成果 指標	26	まちづくり参画度	まちづくり 市民アンケート	何かのかたちでまちづくりに参加していますか。 1. 積極的に参加している 2. 参加している 3. どちらともいえない 4. 参加していない方である 5. 参加していない 1・2の回答者数／全回答者数
関連 指標	57	美唄サテライト・キャンパス「まちづくりを担う人材養成講座」受講者数	業務取得	美唄サテライト・キャンパス「まちづくりを担う人材養成講座」延べ受講者数

びばい未来交響プラン「まちづくり成果指標」一覧

施策とまちづくり成果指標	指標の説明	H27目標値	H26実績値	達成(進捗)度
(1) 農商工連携 新たに商品化された特産品数	農商工連携の取組の成果を、新たに商品化され1年以上継続販売されている特産品数で見る指標	3 商品 H23～27の累積	6 商品	200.0 %
(2) 農業振興 農業総販売額	農業振興の成果を農産物の総販売額から見る指標	65 億円	(H25) 51 億円	78.5 %
(3) 商工業振興 工業出荷額	工業振興の成果を工業出荷額の総額で見る指標	192.0 億円	(H25) 150.3 億円	78.3 %
(4) 観光・交流 観光入込客数	観光振興・交流推進の成果を観光入込客数で見る指標	40 万人	32 万人	80.0 %
(5) 公共交通 市内公共交通の満足度	日常生活で公共交通がどの程度充足しているかを見る指標	80.0 %	63.8 %	79.8 %
(6) 情報化推進 光回線普及率	情報化を進めるための環境がどの程度整っているかを見る指標	60.0 %	95.6 %	159.3 %
(7) 子育て支援 子育てしやすいまちだと思う市民の割合	美唄市がどの程度子育てしやすい環境にあるかを市民の視点から見る指標	60.0 %	22.9 %	38.2 %
(8) 学校教育 家庭学習を毎日1時間以上行っている児童・生徒の割合	学力向上のため、児童・生徒が家庭学習の習慣を身につけているかを見る指標	 H20より高める 小学生 41.3% 中学生 42.0%	小学生 26.5 % 中学生 57.4 %	小学生 △ 14.8ポイント 中学生 +15.4ポイント
(9) 芸術・文化・生涯学習 生涯学習・スポーツに取り組んでいる市民の割合	生涯学習・スポーツに関する施設や情報の提供により、市民が生涯学習活動の機会を得られているかを見る指標	38.0 %	42.9 %	112.9 %
(10) 男女共同参画 固定的な性別役割分担意識を持たない市民の割合	男女共同参画の考え方の浸透度を見る指標	60.0 %	54.0 %	90.0 %
(11) 平和施策 平和記念行事数	平和について考える契機となる行事の数から、平和施策の継続した取組状況を見る指標	4 件	4 件	100.0 %
(12) 自然保護 市内の自然環境の満足度	自然環境の保全と活用の取組の成果を市民の満足度から見る指標	 H20より高める 81.0%	87.7 %	+6.7ポイント
(13) 環境行動 地球にやさしい生活をしている市民の割合	環境への負荷を減らす取組の成果を具体的な行動を行っている市民の割合から見る指標	 H20より高める 65.2%	74.4 %	+9.2ポイント
(14) ごみ処理 ごみの適正分別率	ごみの適正な排出に関する意識の向上と実践度を見る指標	86.0 %	87.5 %	101.7 %

施策とまちづくり成果指標	指標の説明	H27目標値	H26実績値	達成(進捗)度
(15) 都市基盤整備	都市基盤整備の成果をJR美咲駅を中心とした都市機能に対する市民の満足度から見る指標	 H20より高める 66.3%	67.7 %	+1.4ポイント
都市機能の満足度				
(16) 景観・緑づくり	地域が主体となった景観づくりの実践状況を町内会等で管理する花壇の数から見る指標	10箇所	6箇所	60.0 %
コミュニティガーデン数				
(17) 保健	健康づくりの取組により自分が健康だと思う市民がどの程度いるのかを見る指標	80.0 %	69.2 %	86.5 %
自分が健康だと思う市民の割合				
(18) 地域医療	市内の医師数を他市町村と比較するため、人口10万人当りに換算した指標	推移を見る指標 なので目標値は 設定しません	(H24) 169.8人	
人口10万人当たり医師数				
(19) 障がい者福祉	障がい者の自立に向けた取組の成果を地域で生活できている障がい者の割合で見る指標	96.5 %	96.2 %	99.7 %
地域で生活できている障がい者の割合				
(20) 高齢者福祉	保健や介護予防の取組により要介護者がどの程度抑えられているかを見る指標	85.0 %	81.1 %	95.4 %
自立高齢者数				
(21) 防災・防犯・交通安全	自主的な防災活動の取組がどの程度広がっているかを見る指標	25.0 %	15.9 %	63.6 %
自主防災組織率				
(22) 消防	火災予防の取組によりどの程度火災の発生が抑えられているかを見る指標	6.4 %	6.3 %	△0.1ポイント 負数は目標値達成
年間出火率				
(23) 消費者保護	消費者被害を未然に防止するために、市内の相談窓口(美咲消費者協会)をどの程度市民が知っているかを見る指標	60.0 %	46.3 %	77.2 %
消費者相談窓口を知っている市民の割合				
(24) 雇用対策	求人情報提供や職業紹介の成果を見る指標	33.3 %	36.1 %	108.4 %
職業紹介者の就職率				
(25) コミュニティ	コミュニティ活性化の取組がどの程度地域活動につながっているかを見る指標	 H20より高める 56.8%	54.7 %	△2.1ポイント
地域活動に参加している市民の割合				
(26) 協働のまちづくり	協働のまちづくりの成果として、市民がまちづくりにどの程度参画しているかを見る指標	20.0 %	12.8 %	64.0 %
まちづくり参画度				